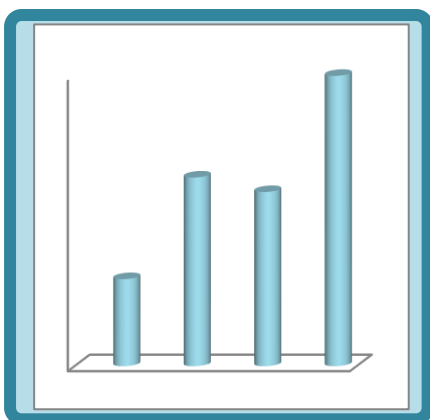
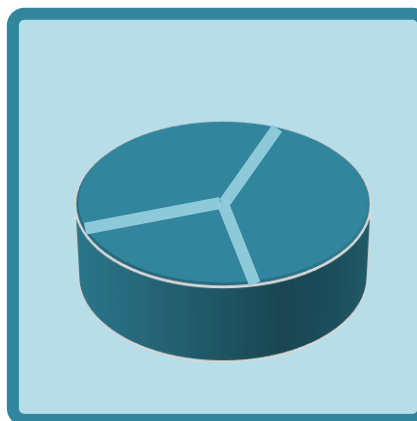
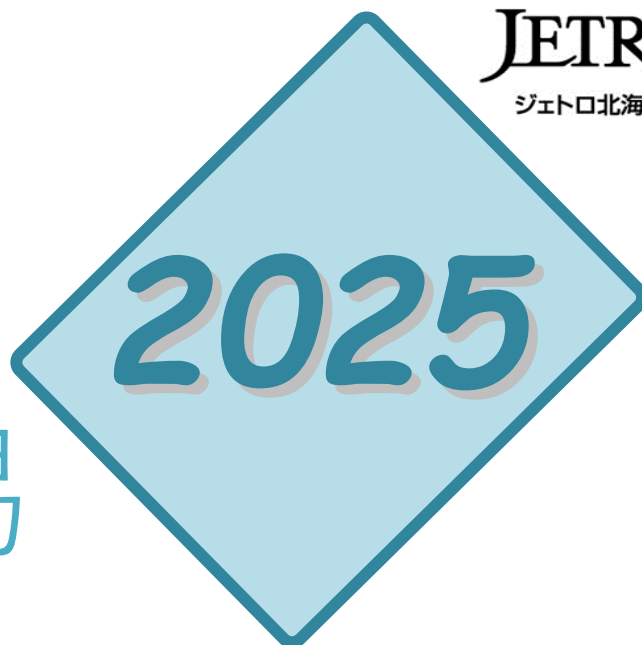


目で見える 北海道貿易



「目で見る北海道貿易」について

この度「目で見る北海道貿易2025」を取りまとめました。

本資料は、財務省の「貿易統計」をもとに、2024年の北海道貿易に関する統計データを視覚化し、北海道貿易の現状をわかりやすくとらえることを目的として取りまとめたものです。

本資料の作成においては、財務省関税局や函館税関が発表している統計・資料を利用し、下記に基づき作成しています。

1. 統計地域

本資料における貿易額は、函館税関が管轄する北海道に蔵置された貨物の通関額です。

2. 統計計上の時期

輸出は当該貨物の積載する船舶又は航空機が出港する日、輸入は当該貨物の輸入許可（承認）の日となります。

3. 価額（輸出入額）

輸出はFOB価格、輸入はCIF価格を用いています。

4. 統計の段階

貿易統計は、速報→確報→確々報→確定という段階を踏み統計数値が修正されます。本資料は2025年3月公表の確々報に基づき作成しています。

本資料は、こちらからダウンロードすることも可能です。

「目で見る北海道貿易2025」（PDF形式）

⇒ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/hokkaido/trade.html>

目 次

I. 北海道と全国の貿易の現状

1. 北海道の貿易の現状	1
2. 全国の貿易の現状	1
3. 全国の地域別貿易額	2
4. 北海道の通関官署別貿易額	2

II. 貿易品目別の輸出入状況

1. 品目別輸出額(北海道、全国)	3
2. 品目別輸入額(北海道、全国)	3

III. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域

1. 輸送用機器の貿易相手国・地域	4
2. 原料別製品の貿易相手国・地域	5

IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域

1. 北海道の主な貿易相手地理圏	6
2. 全国の主な貿易相手地理圏	6
3. 北海道の主な貿易相手国・地域	7
4. 全国の主な貿易相手国・地域	8

V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況

1. 中国との貿易概況	9
2. 米国との貿易概況	11
3. 韓国との貿易概況	13
4. タイとの貿易概況	15
5. ベトナムとの貿易概況	17
6. ロシアとの貿易概況	19
7. 台湾との貿易概況	21

VI. 2024年の北海道における食料品輸出概況

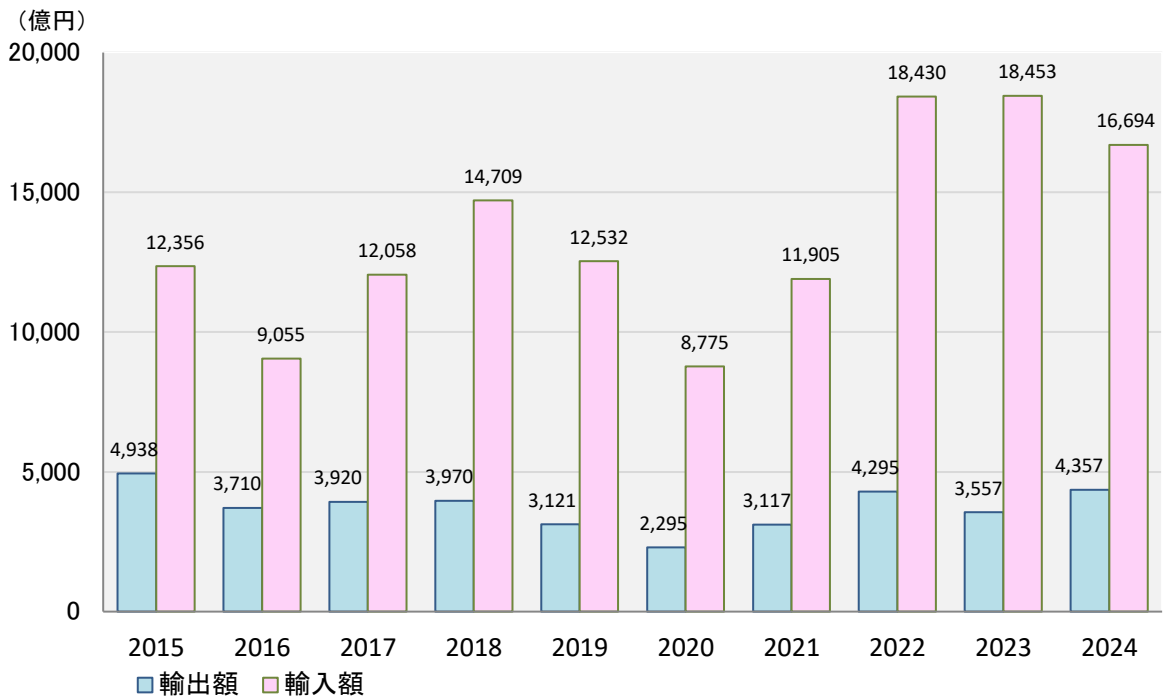
1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合	23
2. 主な品目別の食料品輸出額	23
3. 食料品の主な輸出相手国・地域	32

I. 北海道と全国の貿易の現状

1. 北海道の貿易の現状

2024年の北海道の貿易額は、輸出が前年比22.5%増の4,357億円、輸入が前年比9.5%減の1兆6,694億円となった。
貿易赤字額は前年比17.2%減の1兆2,337億円となった。

図表1 北海道の貿易額年別推移

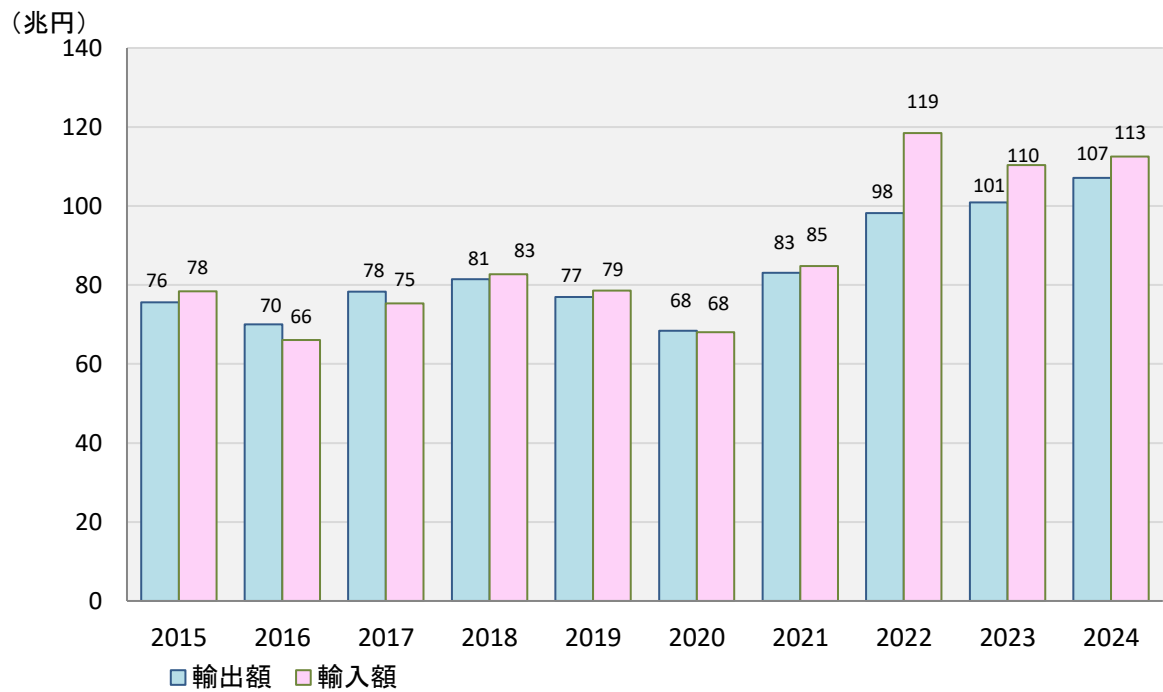


出所:財務省「貿易統計」

2. 全国の貿易の現状

2024年の全国の貿易額は、輸出が前年比6.2%増の107兆879億円、輸入が前年比2.0%増の112兆5,591億円となった。
貿易収支は、約5兆4,712億円の赤字となった。

図表2 全国の貿易額の推移

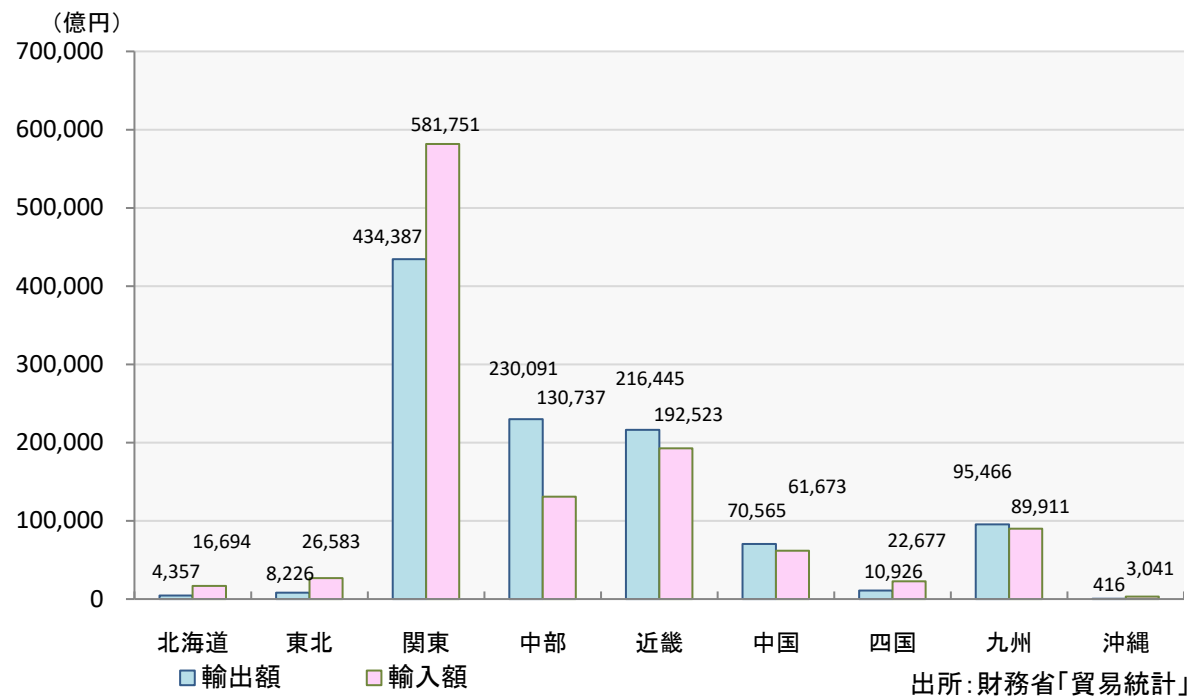


出所:財務省「貿易統計」

3. 全国の地域別貿易額

2024年の各地域別貿易額では、関東は輸出額で全国の40.6%、輸入額で51.7%を占めた。
また、北海道は輸出額で全国の0.4%、輸入額で1.5%を占めた。
輸出が輸入を上回っている地域は、中部、近畿、中国、九州であった。

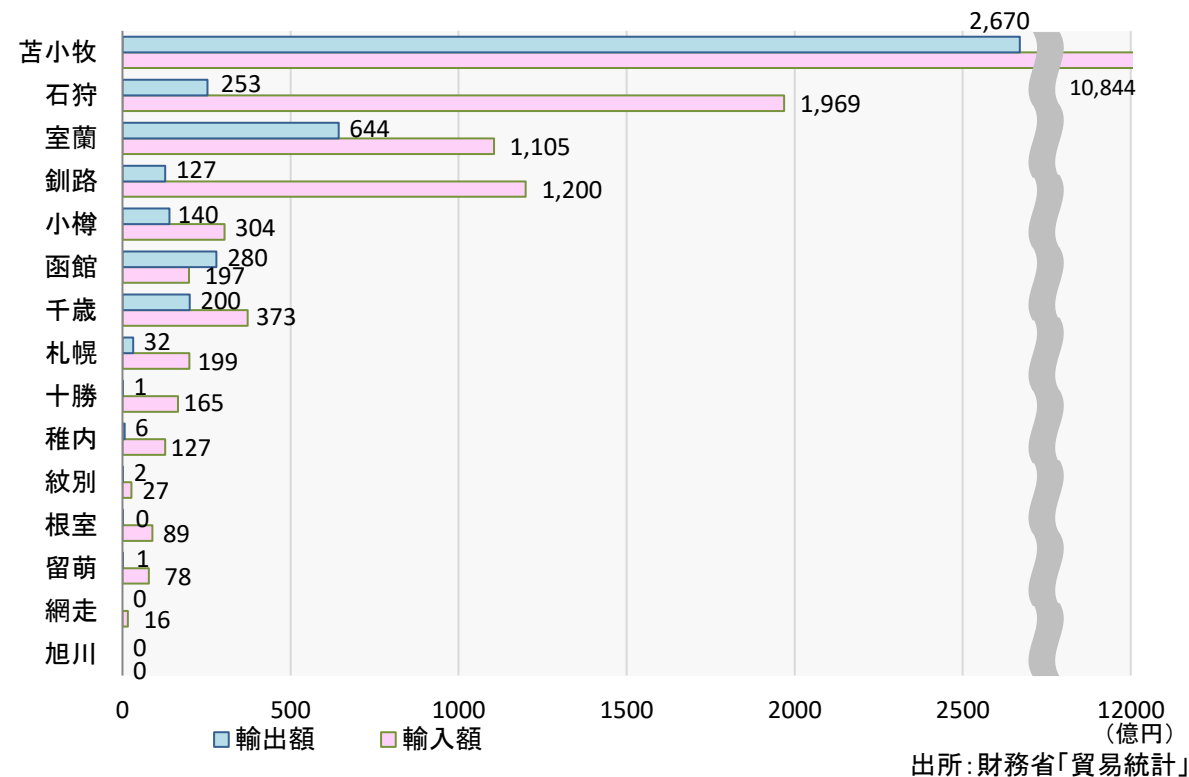
図表3 全国の地域別（各経済産業省管轄地域別）の貿易額



4. 北海道の通関官署別貿易額

2024年の北海道の通関官署別貿易額は苫小牧が最も多く、次いで石狩、室蘭の順となり、
苫小牧と石狩の両官署で輸出額の67.1%、輸入額の76.8%を占めた。
函館は輸出が輸入を上回ったが、その他の地域においては輸入が輸出を上回った。

図表4 北海道の通関官署別の貿易額

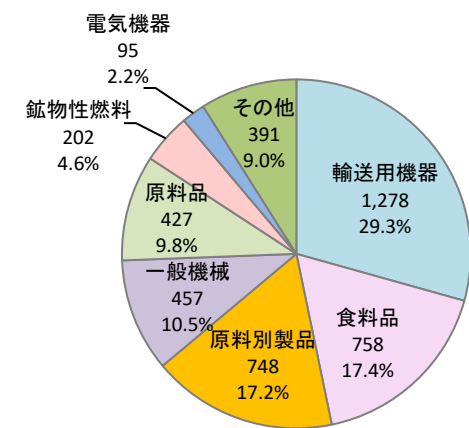


Ⅱ. 貿易品目別の輸出入状況

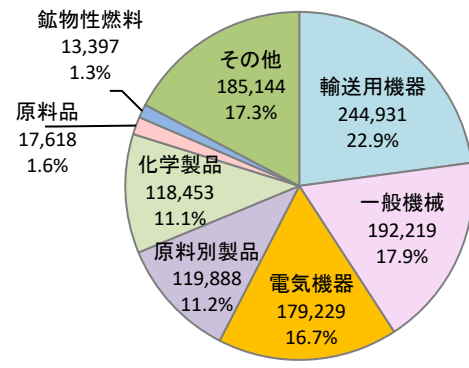
1. 品目別輸出額(北海道、全国)

2024年の北海道の品目別輸出額を見ると、輸送用機器、食料品、原料別製品、一般機械などが主な輸出品目となっている。
北海道は全国と比べ、食料品の割合が高く、電気機器の割合が低い。

図表5 北海道の品目別輸出額 (億円) 図表6 全国の品目別輸出額 (億円)



<輸出総額: 4,357億円>



<輸出総額: 107兆879億円>

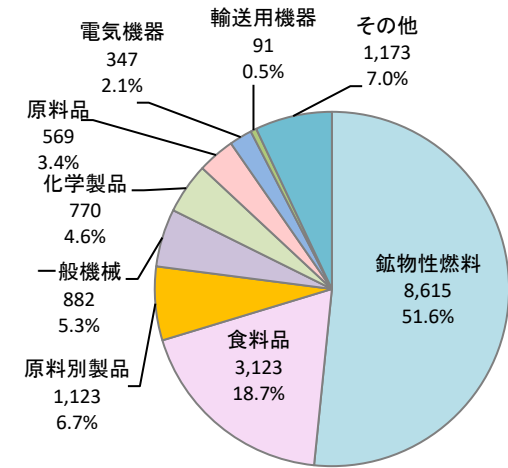
<参考>
●原料品
原皮、生ゴム、木材、パルプ、古紙、金属鉱、鉄鋼くず、油脂など
●原料別製品
革製品、ゴム製品、木製品、紙製品、織物、鉄鋼、金属製品など

出所: 財務省「貿易統計」

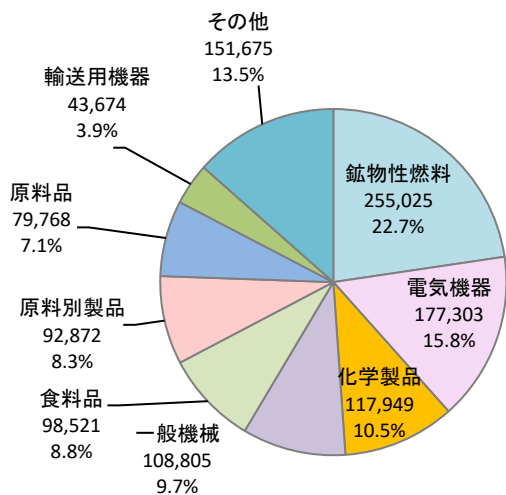
2. 品目別輸入額(北海道、全国)

2024年の北海道の品目別輸入額を見ると、鉱物性燃料、食料品が主な輸入品目となっており、これらを合計した構成比は70.3%となる。
また、全国との比較では、鉱物性燃料の占める割合が約2.3倍となっている。

図表7 北海道の品目別輸入額 (億円) 図表8 全国の品目別輸入額 (億円)



<輸入総額: 1兆6,694億円>



<輸入総額: 112兆5,591億円>

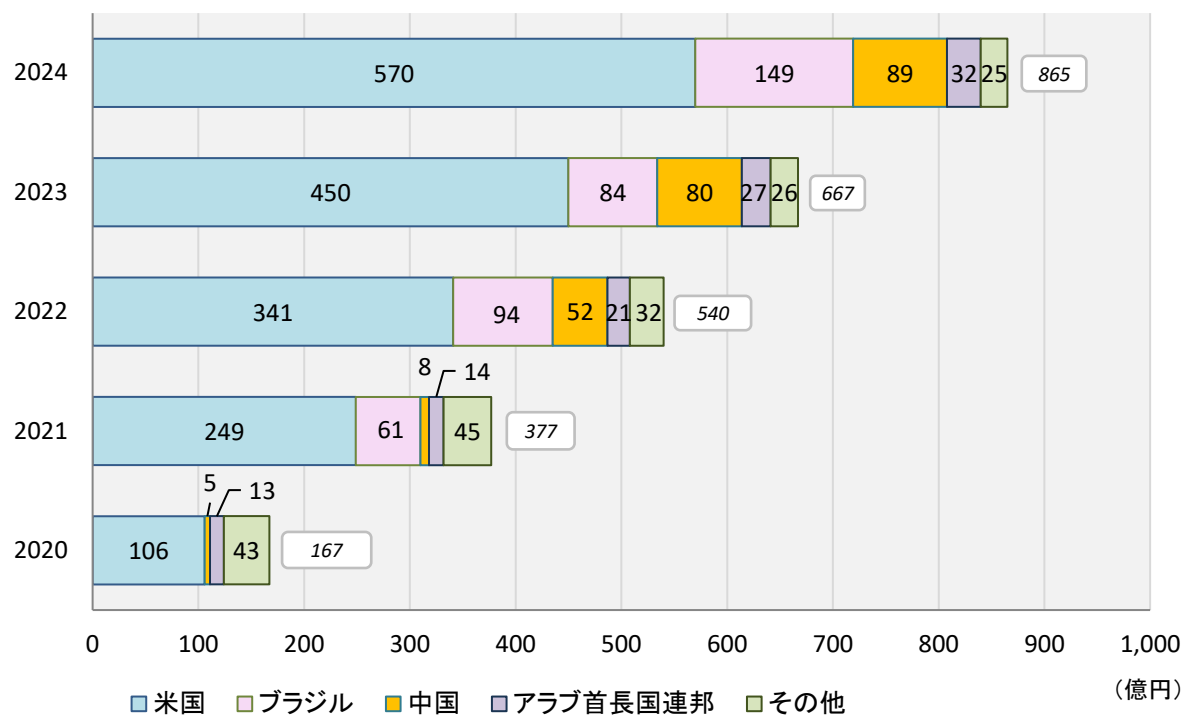
出所: 財務省「貿易統計」

Ⅲ. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域

1. 輸送用機器の貿易相手国・地域

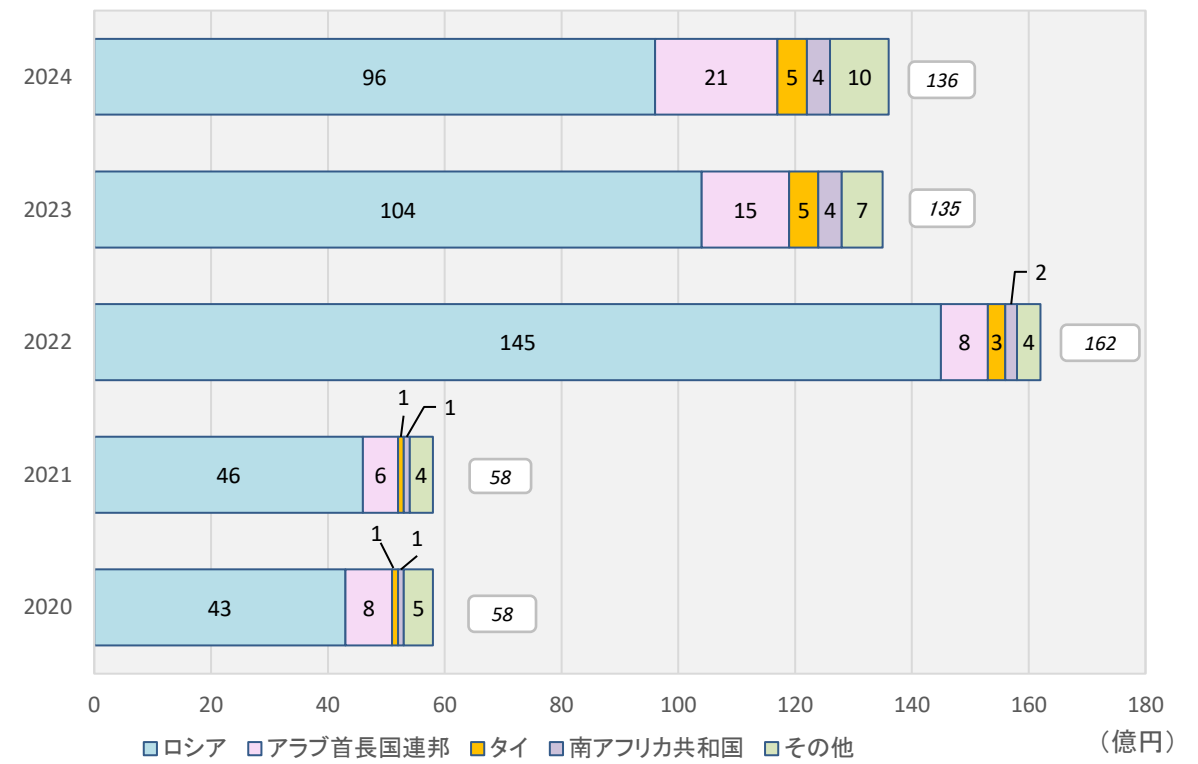
輸送用機器では、「自動車の部分品」が米国、ブラジルなど、「自動車」が主にロシアへ輸出されている。
前年比では、「自動車の部分品」29.7%増、「自動車」は0.7%増となった。

図表9 北海道における「自動車の部分品」の輸出相手国・地域と輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表10 北海道における「自動車」の輸出相手国・地域と輸出額の推移

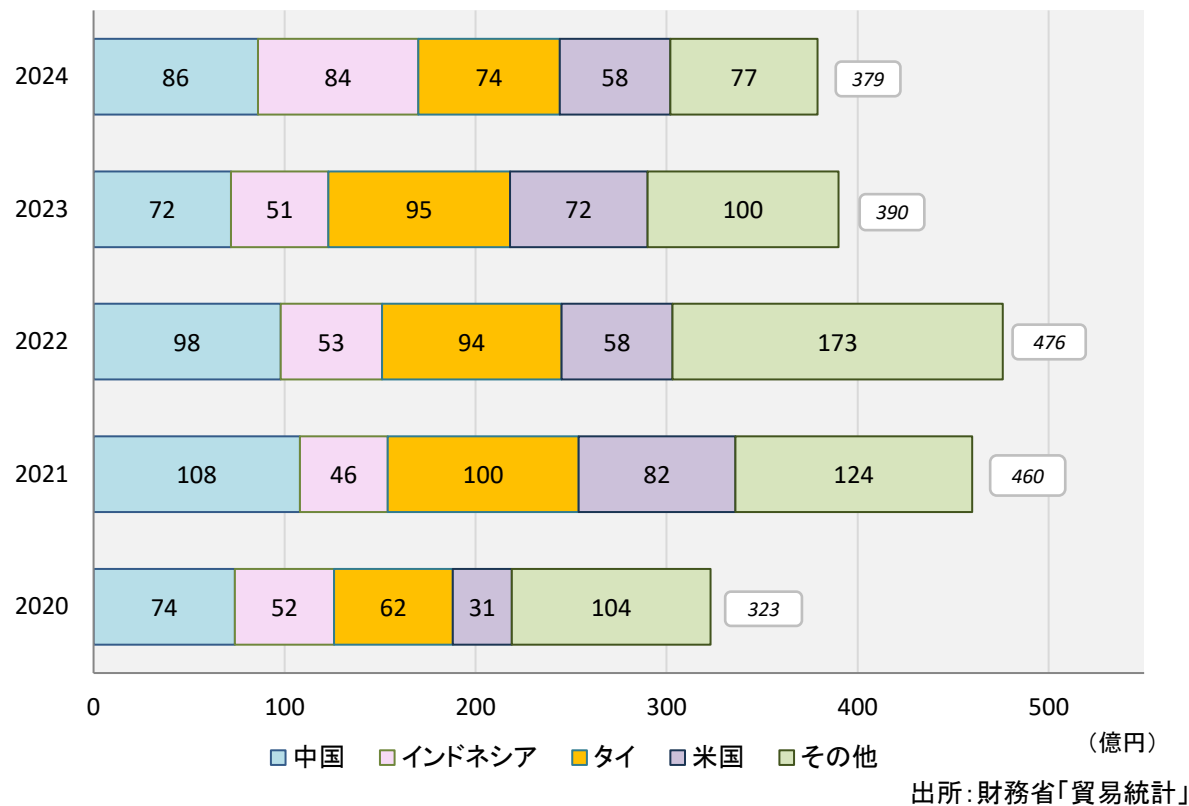


出所:財務省「貿易統計」

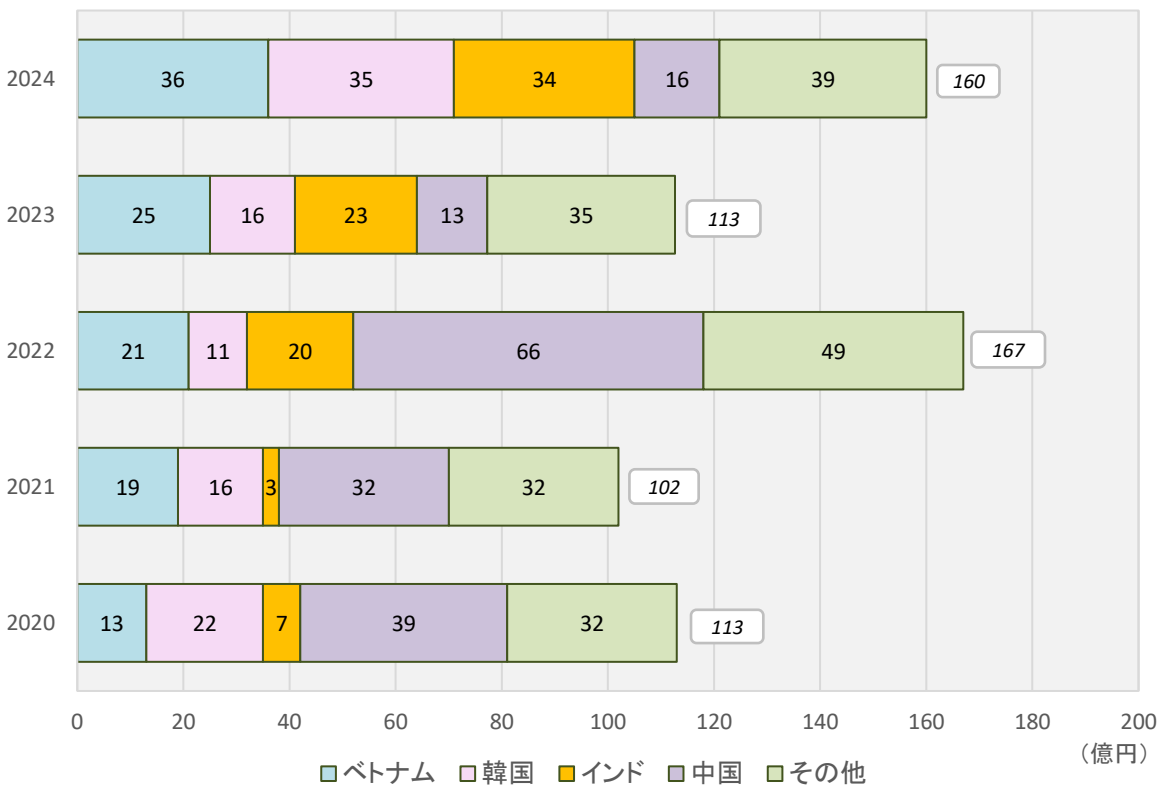
2. 原料別製品の貿易相手国・地域

原料別製品では、「鉄鋼」と「紙類及び同製品」の合計が全体の72.0%を占める。
「鉄鋼」は中国、インドネシア、タイなど、「紙類及び同製品」はベトナム、韓国、インドなどへ輸出されている。
前年比では、「鉄鋼」は2.8%減、「紙類及び同製品」は42.1%増となった。

図表11 北海道における「鉄鋼」の輸出相手国・地域と輸出額の推移



図表12 北海道における「紙類及び同製品」の輸出相手国・地域と輸出額の推移

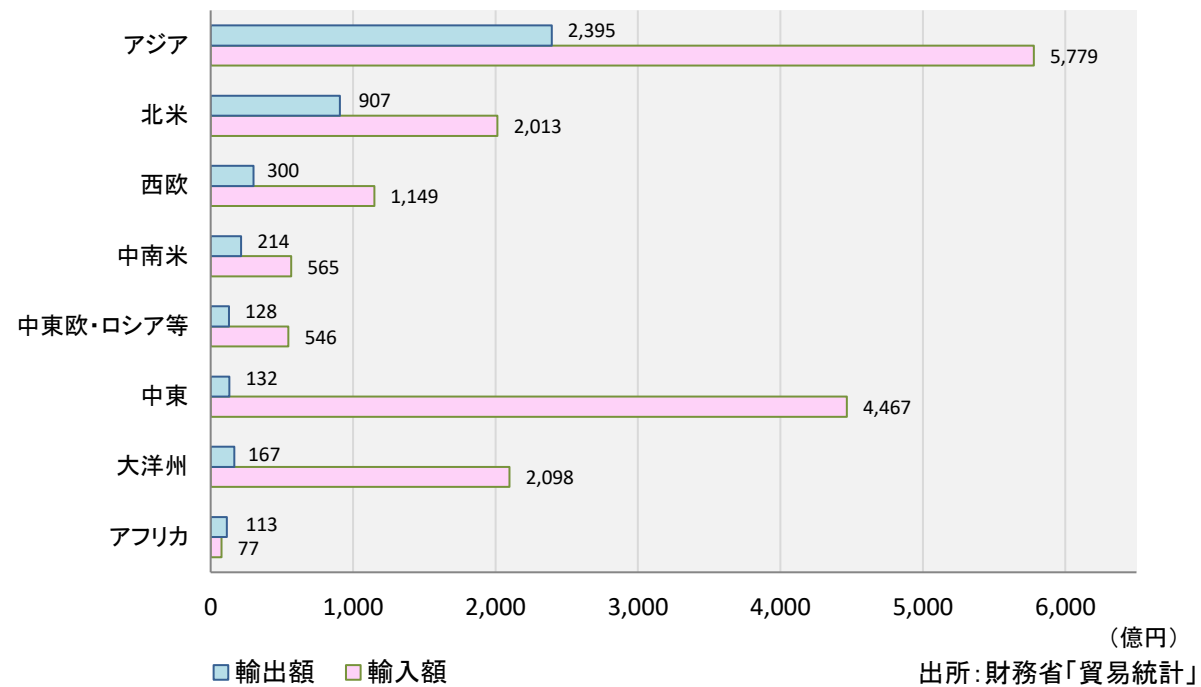


IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域

1. 北海道の主な貿易相手地理圏

2024年の北海道の貿易相手地理圏は、輸出ではアジア圏が55.0%と大半を占めている。輸入においてもアジア圏が34.6%で最も多く、次いで中東が26.8%、大洋州が12.6%となった。

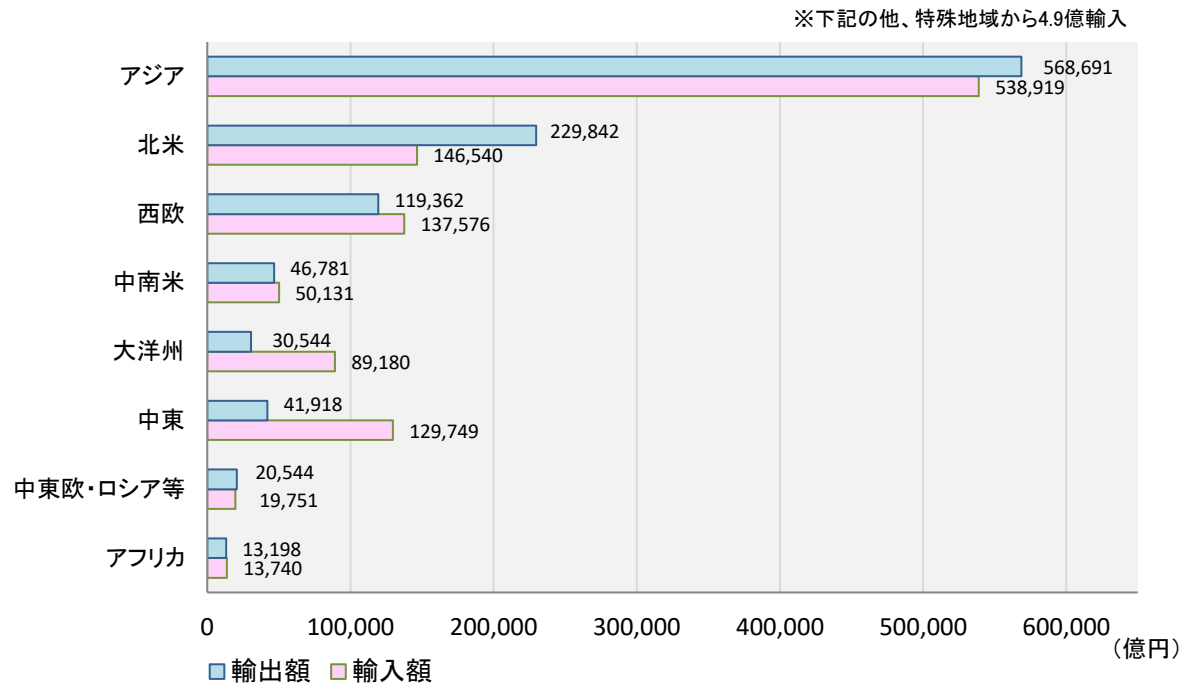
図表13 北海道の貿易相手地理圏



2. 全国の主な貿易相手地理圏

2024年の全国の貿易相手地理圏は、輸出入ともにアジアが中心となっており、輸出では53.1%、輸入では47.9%を占めている。

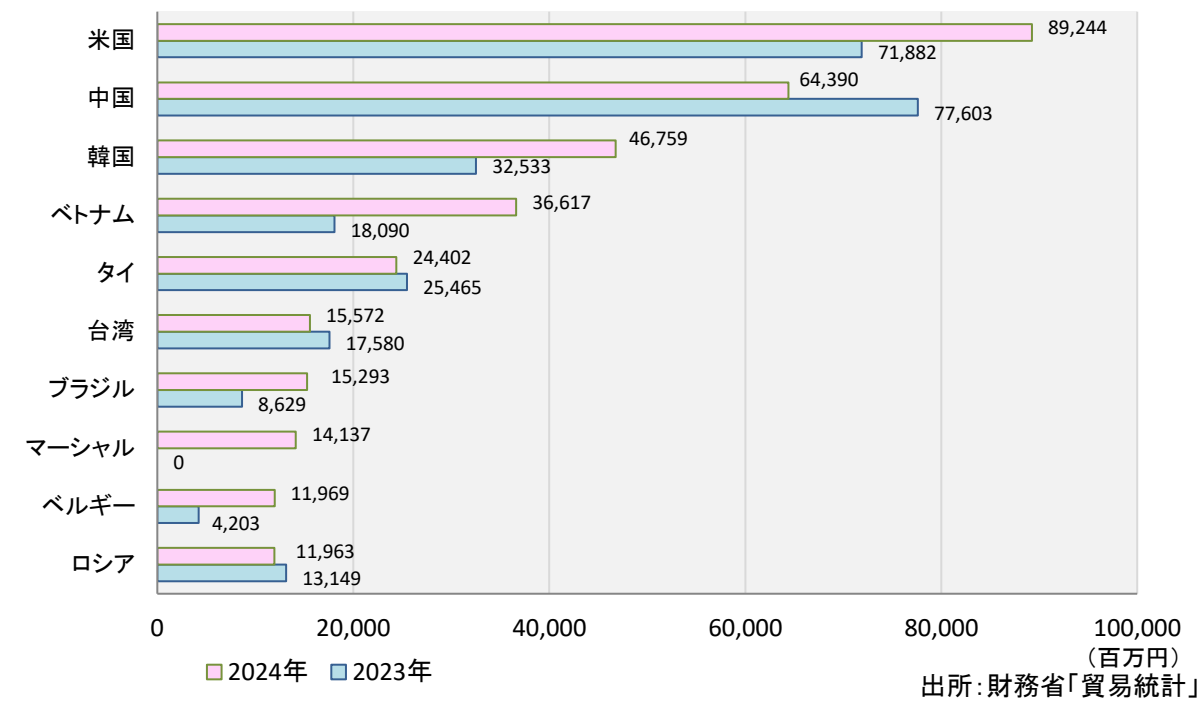
図表14 全国の貿易相手地理圏



3. 北海道の主な貿易相手国・地域

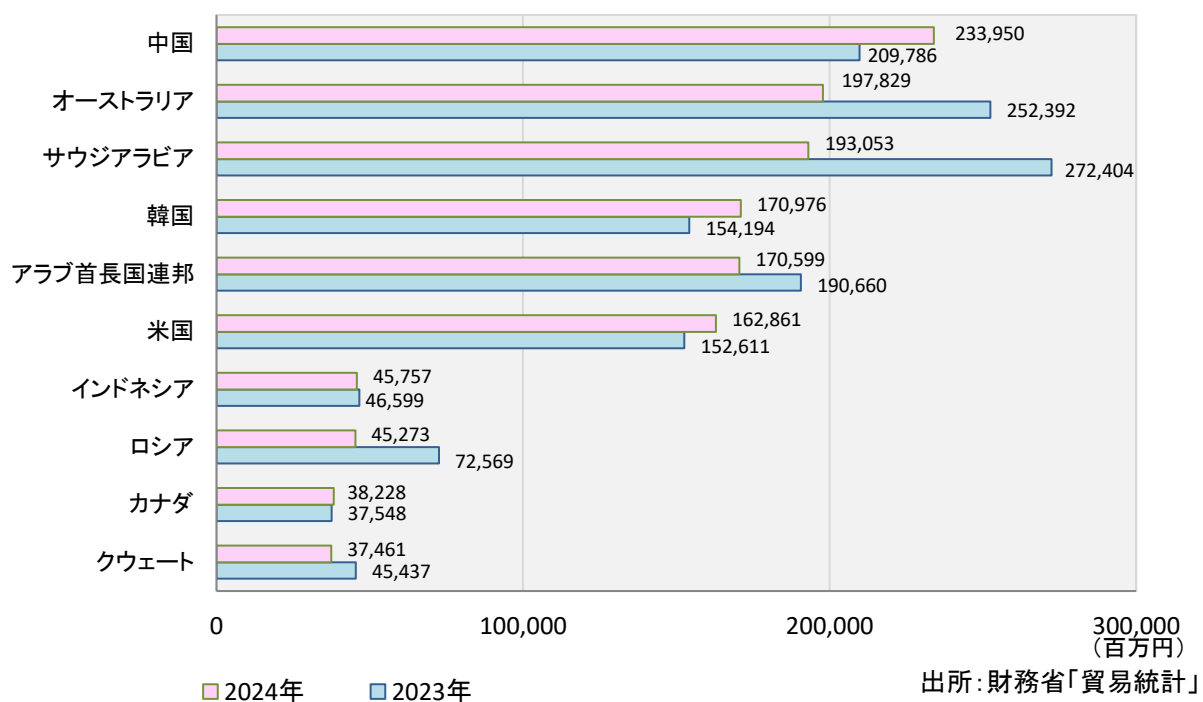
①輸 出
2024年の北海道の主な輸出相手先は米国が最も多く、次いで中国、韓国の順となっている。
前年比としては、主に中国（17. 0％減）、台湾（11. 4％減）、ロシア（9. 0％減）などで減少し、
ベルギー（184. 8％増）、ベトナム（102. 4％増）、ブラジル（77. 2％増）などで増加した。

図表15 北海道の主な輸出相手国・地域



②輸 入
2024年の北海道の主な輸入相手先は中国が最も多く、次いでオーストラリア、サウジアラビアの順となっている。
前年比としては、主にロシア（37. 6％減）、サウジアラビア（29. 1％減）、オーストラリア（21. 6％減）で減少し、中国（11. 5％増）、韓国（10. 9％増）、米国（6. 7％増）などで増加した。

図表16 北海道の主な輸入相手国・地域

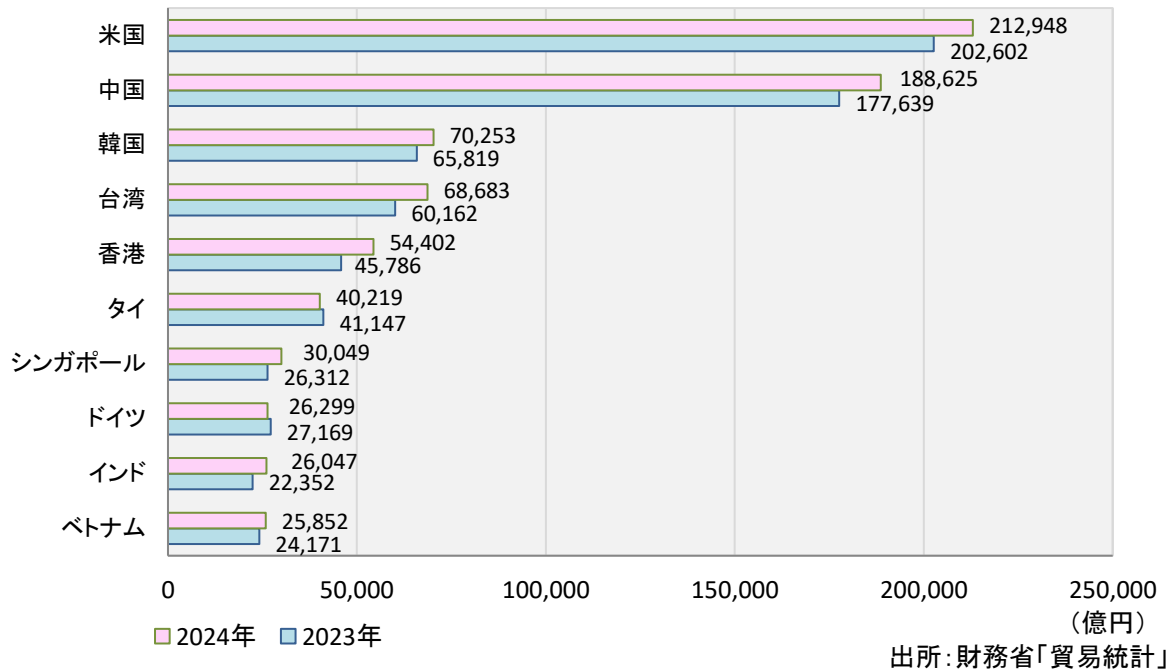


4. 全国の主な貿易相手国・地域

①輸 出

2024年の全国の主な輸出相手先は米国が最も多く、次いで中国、韓国の順となっている。前年比としては、主にドイツ(3. 2%減)、タイ(2. 3%減)などで減少し、香港(18. 8%増)、インド(16. 5%増)などで増加した。

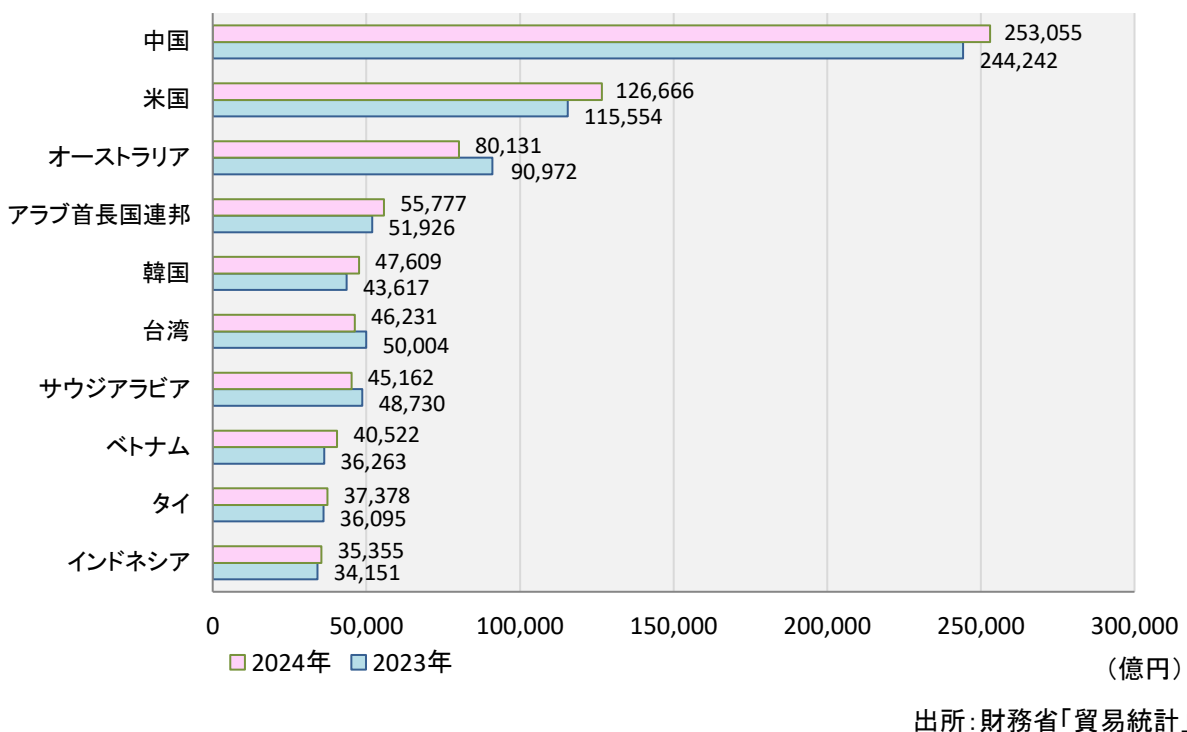
図表17 全国の主な輸出相手国・地域



②輸 入

2024年の全国の主な輸入相手先は中国が最も多く、次いで米国、オーストラリアの順となっている。前年比としては、主にオーストラリア(11. 9%減)、台湾(7. 5%減)などで減少し、ベトナム(11. 7%増)、米国(9. 6%増)などで増加した。

図表18 全国の主な輸入相手国・地域

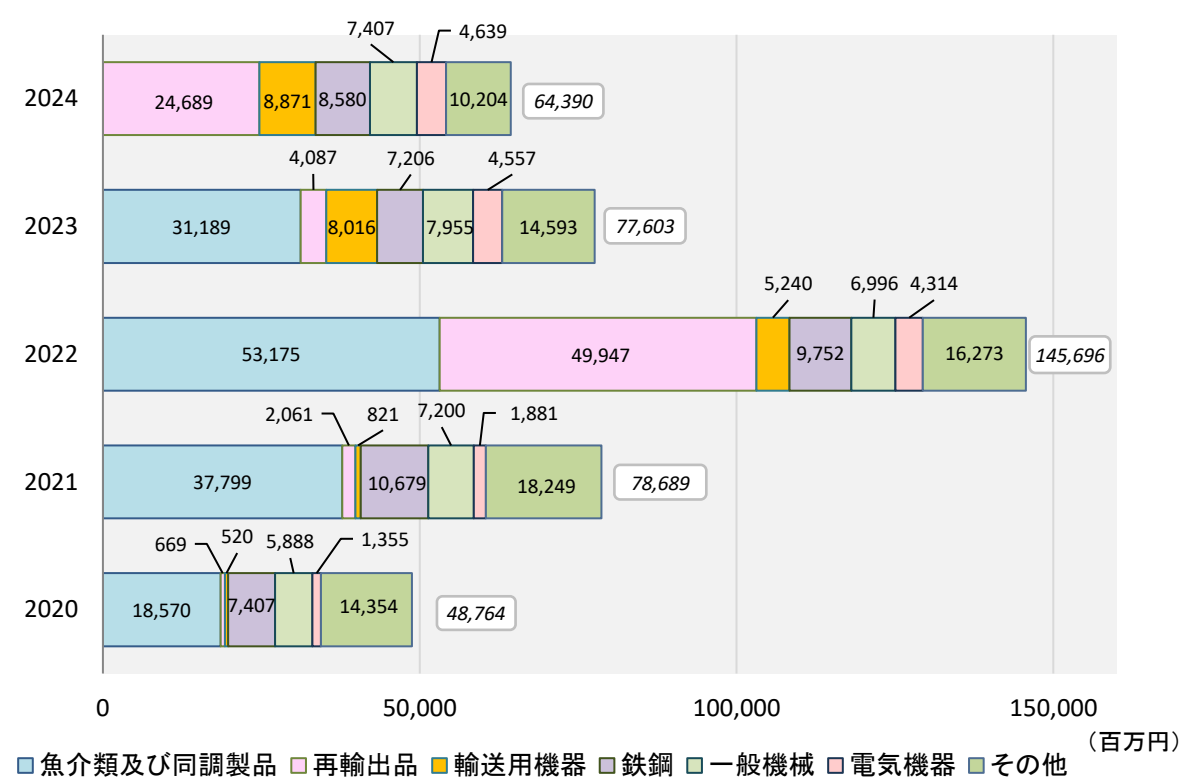


V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況

1. 中国との貿易概況

①輸 出
2024年の中国への輸出額は643億円で、前年から約132億円減少した。
魚介類及び同調製品の輸出がなかったことから、主な輸出品は、再輸出品、輸送用機器、鉄鋼、一般機械、電気機器となっている。

図表19 北海道における中国への輸出額の推移



図表20 北海道における中国への輸出額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

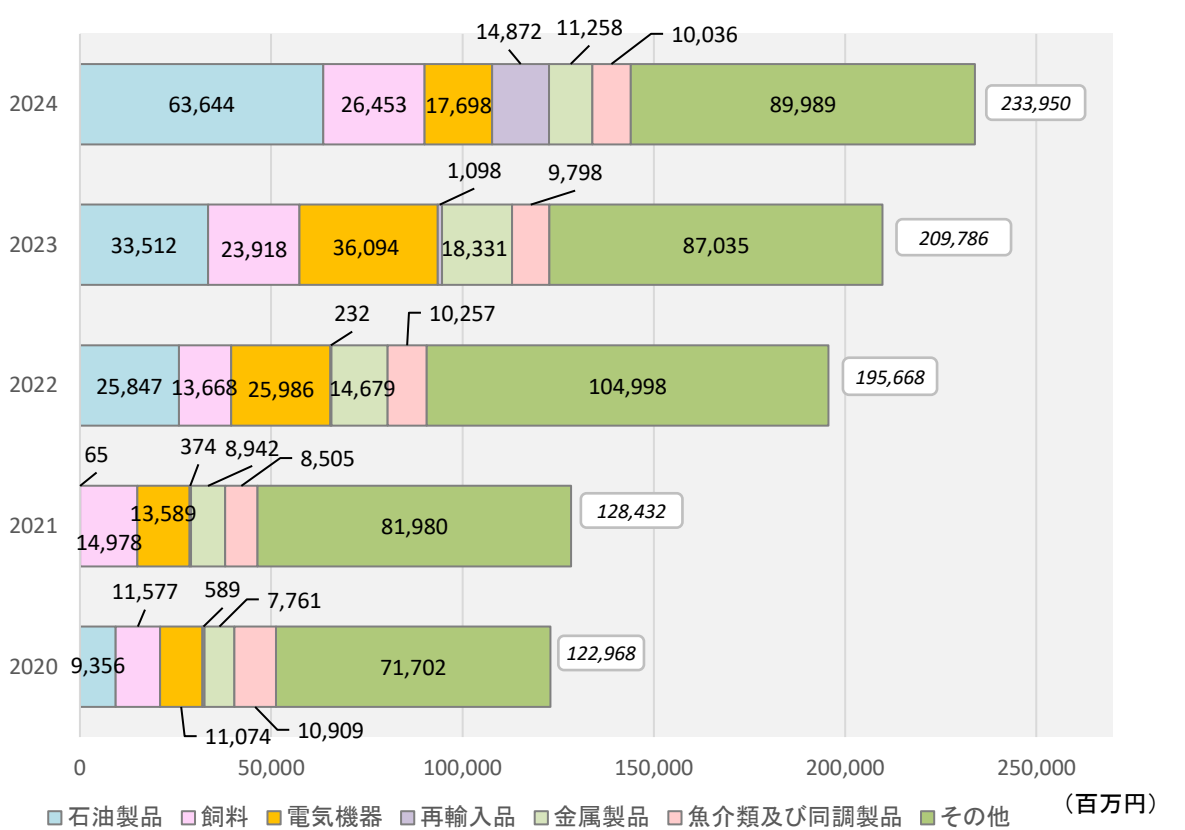
順位	品 名	金額 (百万円)
1	再輸出品(マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。)	24,689
2	自動車のギヤボックス及びその部分品	7,501
3	コック、弁その他これらに類する物品(減圧弁及び温度制御式弁を含むものとし、管、かん胴、タンクその他これらに類する物品用のものに限る。)のうち、減圧弁、油圧伝動装置用又は空気圧伝動装置用の弁、逆止弁、安全弁及び逃がし弁以外のもので、鉄鋼製及び銅製を除いたもの	3,143
4	その他の合金鋼のインゴットその他の一次形状のもの及び半製品(インゴットその他の一次形状のものは除く。)	2,892
5	蒸気タービンに係る部分品	2,643
6	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る。)のうち、高速度鋼及びシリコマンガ鋼以外のばね鋼のもの	2,472
7	電動機、発電機及びロータリーコンバーターに専ら又は主として使用する部分品	2,339
8	印刷回路	2,253
9	ブレーキ用、クラッチ用その他これらに類する用途に供する摩擦材料及びその製品のうち、石綿を含有しないもので、ブレーキライニング及びブレーキパッド以外のもの	2,113
10	水(鉱水及び炭酸水を含むものとし、砂糖その他の甘味料又は香味料を加えたものに限る。)	882

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2024年の中国からの輸入額は約2,340億円で、前年から約242億円増加した。
主な輸入品は、石油製品、飼料、電気機器、再輸入品、金属製品、魚介類及び同調整品となっている。

図表21 北海道における中国からの輸入額の推移



図表22 北海道における中国からの輸入額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

順位	品 名	金額 (百万円)
1	その他の灯油(低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用のものを除く)	57,666
2	大豆油かす(粉碎してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない。)	17,550
3	再輸入品(マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。)	14,872
4	でん粉製造の際に生ずるかすその他これに類するかす	7,431
5	揮発油のうち、自動車の燃料用のもの(低重合度の混合アルキレン、政令で定める分留性状の試験方法による減失量加算5%留出温度と減失量加算95%留出温度との温度差が2度以内のもの、政令で定める石油化学製品の製造に使用するものを除く)	5,902
6	いかのうち、くん製したものおよび気密容器入りのもの、米を含むものを除く、その他のもの	4,220
7	肥料成分(窒素、りん及びカリウム)のうち二以上を含有する肥料(鉱物性肥料及び化学肥料に限る。)及びその他の肥料並びにこの類の物品をタブレット状その他これに類する形状にし又は容器との1個の重量が10キログラム以下に包装したもののうち、オルトリン酸水素二アンモニウム(りん酸二アンモニウム)	3,742
8	光電池(モジュール又はパネルにしてあるもの)	3,084
9	電動機、発電機及びロータリーコンバーターに専ら又は主として使用する部分品	2,817
10	肥料成分(窒素、りん及びカリウム)のうち二以上を含有する肥料(鉱物性肥料及び化学肥料に限る。)及びその他の肥料並びにこの類の物品をタブレット状その他これに類する形状にし又は容器との1個の重量が10キログラム以下に包装したもののうち、オルトリン酸水素二アンモニウム(りん酸二アンモニウム)及びこれとオルトリン酸水素二アンモニウム(りん酸二アンモニウム)との混合物	2,795

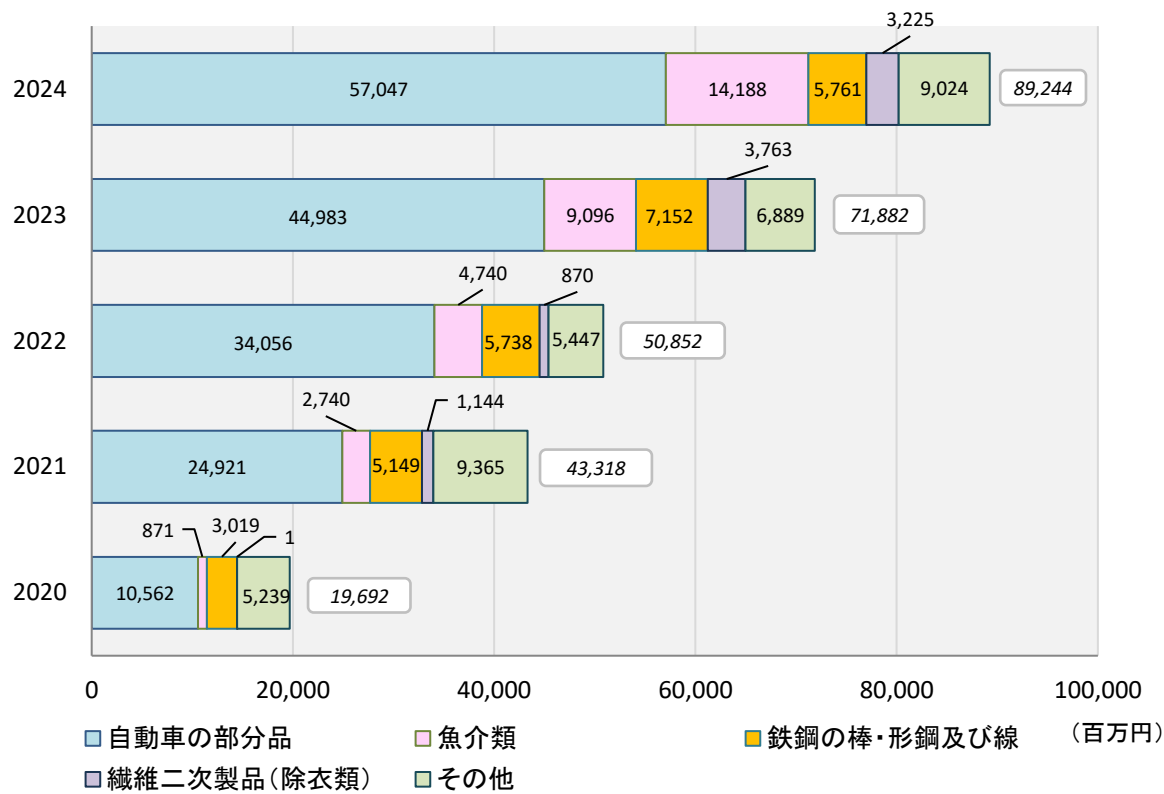
出所:財務省「貿易統計」

2. 米国との貿易概況

①輸 出

2024年の米国への輸出額は約892億円で、前年から約174億円増加した。
主な輸出品は、自動車の部分品、魚介類、鉄鋼の棒・形鋼及び線、繊維二次製品（除衣類）となっている。

図表23 北海道における米国への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表24 北海道における米国への輸出額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

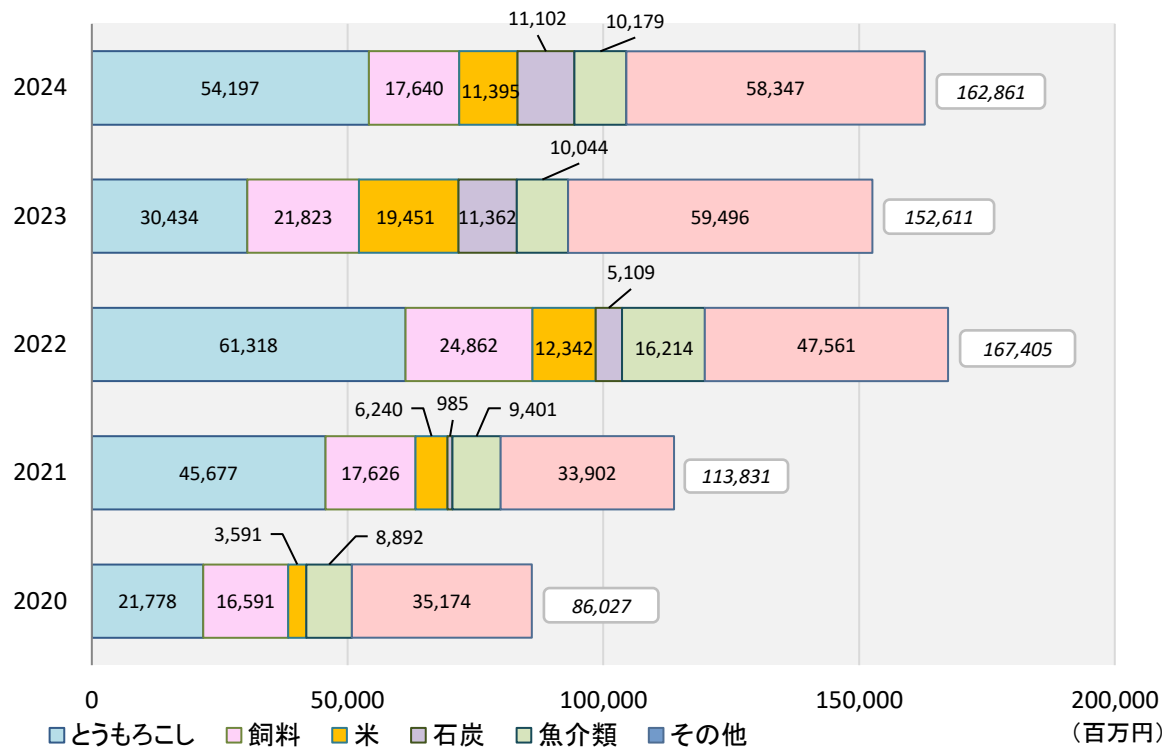
順位	品 名	金額 (百万円)
1	自動車のギヤボックス及びその部分品	53,969
2	スキヤロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの（完全に殻を除いたもの）	13,840
3	自動車のクラッチ及びその部分品	3,075
4	不織布（重量が1平方メートルにつき150グラムを超えるナイロンその他のポリアミド製のもの）	2,158
5	その他の合金鋼の棒（熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る。）のうち、高速度鋼及びシリコマンガ鋼以外のばね鋼のもの	2,104
6	高速度鋼の棒及びシリコマンガ鋼の棒を除いた、その他の棒（熱間圧延、熱間引抜き又は押出しをしたものであり、更に加工したものを除く。）のうち、ばね鋼で横断面が円形のもの	1,710
7	ブレーキ用、クラッチ用その他これらに類する用途に供する摩擦材料及びその製品（取り付けてないもので、石綿その他の鉱物性材料又は繊維素をもととしたものに限るものとし、紡織用繊維その他の材料と組み合わせてあるかないかを問わない。）で、石綿を含有しないもののうちブレーキライニング及びブレーキパッドを除くもの	1,705
8	印刷回路	1,326
9	その他の合金鋼の棒（熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る。）のうち、高速度鉄鋼、シリコマンガ鋼、合金工具鋼、構造用合金鋼、快削鋼、ばね鋼を除いたもの	1,254
10	電動機、発電機及びロータリーコンバーターに専ら又は主として使用する部分品	1,050

出所：財務省「貿易統計」

②輸 入

2024年の米国からの輸入額は約1, 629億円で、前年から約102億円増加した。
主な輸入品は、とうもろこし、飼料、米、石炭、魚介類となっている。

図表25 北海道における米国からの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表26 北海道における米国からの輸入額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

順位	品 名	金額 (百万円)
1	とうもろこし(飼料用であり、税関の監督の下で飼料の原料として使用するものに限る。)	53,219
2	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない。)	11,395
3	ルタバガ、飼料用のビートその他の飼料用の根菜類、飼料用の乾草、ルーサン(アルファルファ)、クローバー、セインホイン、飼料用のケール、ルービン、ベッチその他これらに類する飼料用植物のうち、ルーサン(アルファルファ)のミール及びペレット、キューブ状以外のもの	6,077
4	歴青炭のうち、灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のもの以外で、強粘結性のコークス用炭、その他のコークス用炭を除いたもの	5,623
5	半導体デバイス又は集積回路製造用の機器	5,076
6	針葉樹のチップ状又は小片状の木材	4,865
7	大豆油かす(粉砕してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない。)	4,735
8	純粋種の繁殖用の馬(サラブレッド種、サラブレッド系種、アラブ種、アングロアラブ種又はアラブ系種の馬(軽種馬) 以外のものである旨が関税定率法施行令で定めるところにより証明されたもの及び軽種馬を除く。)	3,831
9	醸造又は蒸留の際に生ずるかす	3,552
10	冷凍した豚の肉のうち、枝肉及び半丸枝肉、骨付きのもも肉及び肩肉並びにこれらを分割したもの、いのししを除いたもの(課税価格が1キログラムにつき、部分肉に係る分岐点価格を超えるもの)	3,391

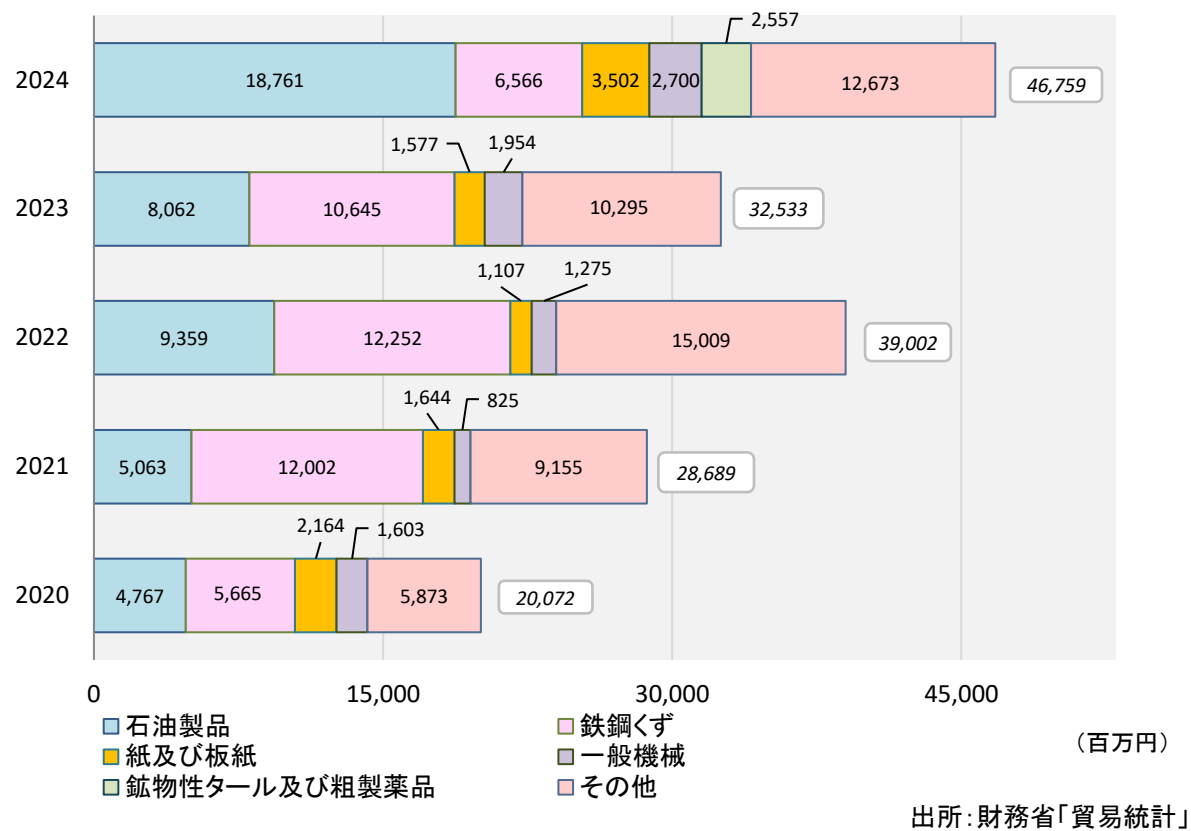
出所：財務省「貿易統計」

3. 韓国との貿易概況

①輸 出

2024年の韓国への輸出額は約468億円で、前年から約142億円増加した。
主な輸出品は、石油製品、鉄鋼くず、紙及び板紙、一般機械、鉱物性タール及び粗製薬品となっている。

図表27 北海道における韓国への輸出額の推移



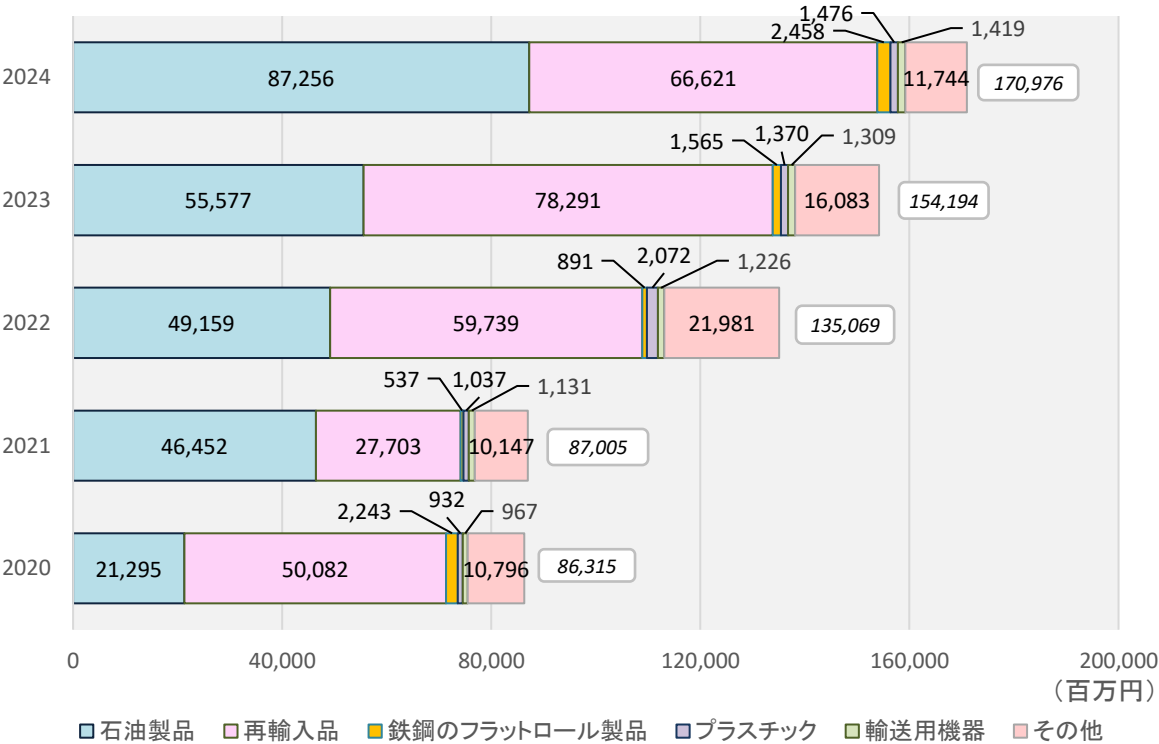
図表28 北海道における韓国への輸出額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	重油	9,002
2	軽質油及びその調製品のうち、ピストン式内燃機関の燃料用を除いた揮発油	7,478
3	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のシュレッダーくず	3,052
4	高温コールタールの蒸留物及びこれに類する物品で芳香族成分の重量が非芳香族成分の重量を超えるもののうち、芳香族炭化水素混合物で、ISO 3405の方法 (ASTM D 86の方法と同等の方法)による温度250度における減失量加算留出容量が全容量の65%以上のもの (ベンゾール(ベンゼン)、トルオール(トルエン)、キシロール(キシレン)、ナフタレンを除く)	2,557
5	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のヘビーくず	2,437
6	軽油	2,281
7	アルミニウムのくずのうち、アルミ缶のもの	1,840
8	不飽和の非環式炭化水素(プロペン(プロピレン))	1,161
9	圧延機用ロール	1,150
10	合金鋼のくずのうち、ステンレス鋼のもの	1,032

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入
2024年の韓国からの輸入額は約1,710億円で、前年から約168億円増加した。
主な輸入品は、石油製品、再輸入品、鉄鋼のフラットロール製品、プラスチック、輸送用機器となっている。

図表29 北海道における韓国からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表30 北海道における韓国からの輸入額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	その他の灯油(低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用のものを除く)	67,305
2	再輸入品(マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。)	66,621
3	揮発油のうち、自動車の燃料用のもの(低重合度の混合アルキレン、政令で定める分留性状の試験方法による減失量加算5%留出温度と減失量加算95%留出温度との温度差が2度以内のもの、政令で定める石油化学製品の製造に使用するものを除く)	16,003
4	石油又は歴青油の残留物(潤滑油を溶剤により精製する際に生ずる副生抽出物を除く。)	2,412
5	自動車のクラッチ及びその部分品	1,250
6	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品のうち、厚さが50ミリメートル以下のもの(炭素の含有量が全重量の0.6%未満のもの)	1,022
7	比重が0.94未満のエチレン-アルファ-オレフィン共重合体のうち、塊、粉、粒、フレークその他これらに類する形状のもの(バイオポリエチレンを除く。)	715
8	大豆油かす(粉碎してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない。)	713
9	石油ガスその他のガス状炭化水素のうち、ブタン(アンモニア、オレフィン系炭化水素又は無水マレイン酸の製造に使用するものを除く。)	709
10	化学木材パルプ(ソーダパルプ及び硫酸塩パルプ(クラフトパルプ)に限るものとし、溶解用のものを除く。)のうち、針葉樹以外で半さらしのもの及びさらしたもの	614

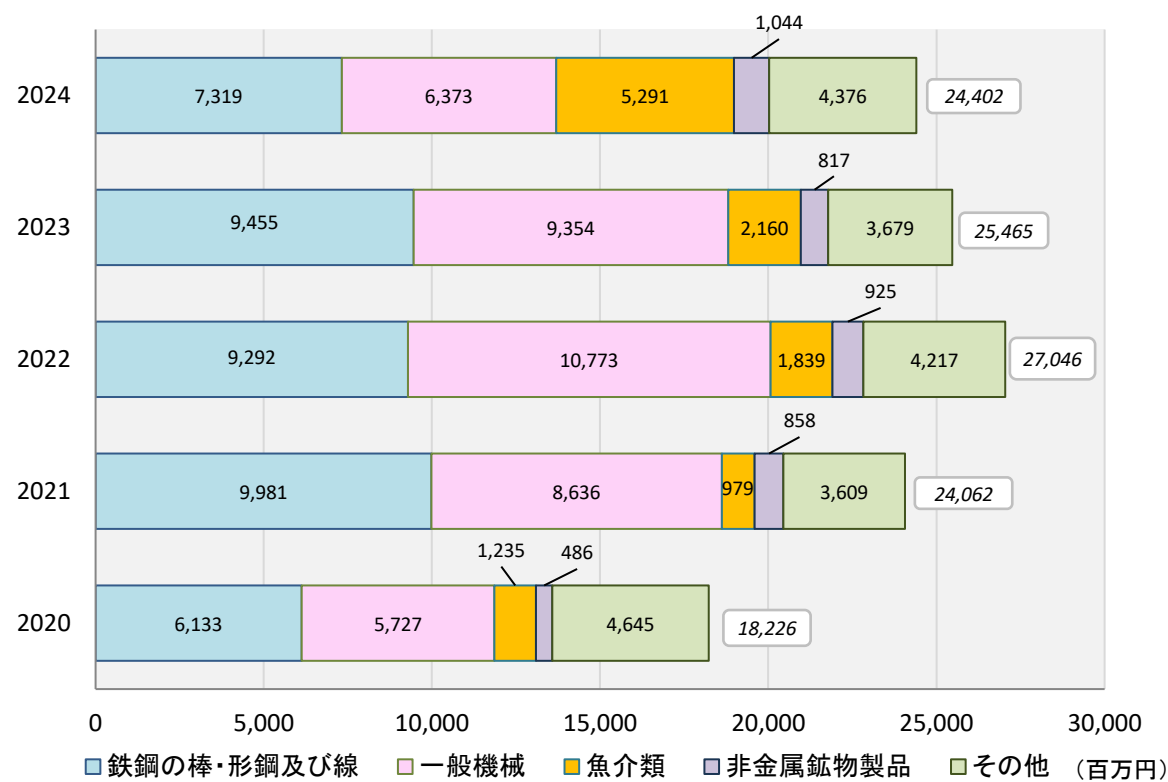
出所:財務省「貿易統計」

4. タイとの貿易概況

①輸 出

2024年のタイへの輸出額は約244億円で、前年から約11億円減少した。
主な輸出品は 鉄鋼の棒・形鋼及び線、一般機械、魚介類、非金属鉱物製品となっている。

図表31 北海道におけるタイへの輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

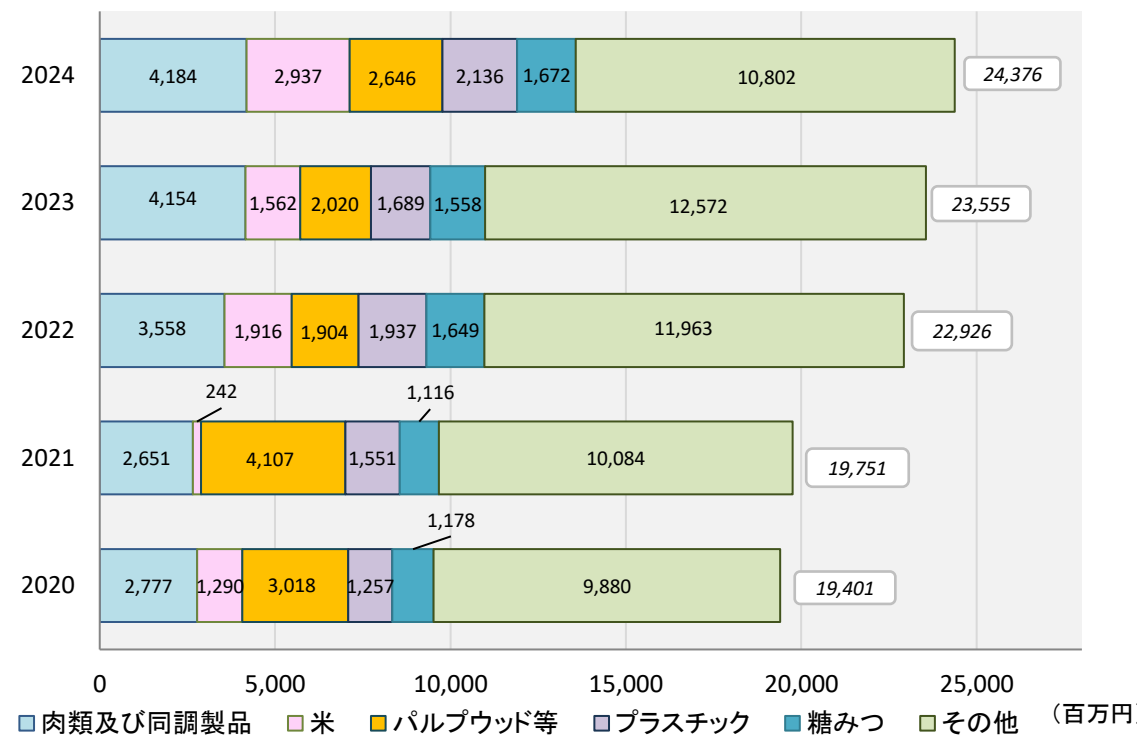
図表32 北海道におけるタイへの輸出額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	ピストン式火花点火内燃機関(往復動機関及びロータリーエンジンに限る。)及びピストン式圧縮点火内燃機関(ディーゼルエンジン及びセミディーゼルエンジン)に専ら又は主として使用する部分品のうち、第87類の車両(鉄道用及び軌道用以外の車両)用エンジンのもの	4,425
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたものを除く。)	1,979
3	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	1,659
4	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る。)のうち、高速度鉄鋼、シリコマンガ鋼、合金工具鋼、構造用合金鋼、快削鋼、ばね鋼を除いたもの	1,393
5	鉄又は非合金鋼のその他の棒のうち、丸鋼で炭素の含有量が全重量の0.25%以上0.6%未満の機械構造用炭素鋼のもの(鍛造したもの、節、リブ、溝その他の異形を圧延工程において付けたもの及び圧延後ねじつたものを除く。)	1,218
6	その他の陶磁製品のうち、磁器製以外のもの	1,040
7	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	962
8	熱間圧延、熱間引抜き又は押出しをした合金鋼のその他の棒(更に加工したものを除く。)のうち、構造用合金鋼のもの	889
9	その他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたものに限る。)のうち、高速度鉄鋼及びシリコマンガ鋼以外の構造用合金鋼のもの	821
10	熱間圧延、熱間引抜き又は押出しをした合金鋼のその他の棒(更に加工したものを除く。)のうち、快削鋼のもの	784

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入
2024年のタイからの輸入額は約244億円で、前年から約8億円増加した。
主な輸入品は、肉類及び同調製品、米、パルプウッド等、プラスチック、糖みつとなっている。

図表33 北海道におけるタイからの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表34 北海道におけるタイからの輸入額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

順位	品 名	金額 (百万円)
1	ソーセージその他これに類する物品(肉、くず肉、血又は昆虫類から製造したものに限る。)及びこれらの物品をもととした調製食料品以外のその他の調製をし又は保存に適する処理をした鶏(ガルルス・ドメスティクス)の肉、くず肉、血(腸、ぼうこう、胃及び牛若しくは豚を含有するものは除く。)	3,362
2	精米(研磨してあるかないか又はつや出ししてあるかないかを問わない。)	2,937
3	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	2,646
4	飼料用の甘しや糖みつ(税関の監督の下で飼料の原料として使用するものに限る。)	1,118
5	エステル化でん粉その他のでん粉誘導体	817
6	冷凍した鶏(ガルルス・ドメスティクス)の分割した肉及び食用のくず肉(肝臓、骨付きのものも以外のもの)	755
7	比重が0.94以上で塊、粉、粒、フレークその他これらに類する形状のポリエチレン(バイオポリエチレンを除く。)	730
8	アルミニウム(合金を除く。)の線のうち、横断面の最大寸法が7ミリメートルを超えるもの	723
9	甘しや糖みつのうち、グルタミン酸及びその塩、酵母、リジン、5'-リボヌクレオチド及びその塩その他政令で定める物品の製造に使用するもの	554
10	調整食料品のうち、砂糖を除く各成分でソルビトールの重量が最大のもの(ミルクの天然の組成分の含有量の合計が乾燥状態において全重量の30%以上の調製品、米、小麦(ライ小麦を含む。))又は大麦(裸麦を含む。))のいずれかの含有量が全重量の30%を超える調製食料品、糖水、チューインガム、こんにゃく、飲料製造に使用する種類の調製品でアルコールを含有するもの以外で砂糖を加えたものうち、おたねにんじん又はそのエキスを含有する飲料のもと、ビタミンをもととした栄養補助食品、しょ糖の含有量が全重量の50%未満のものを除く。)	539

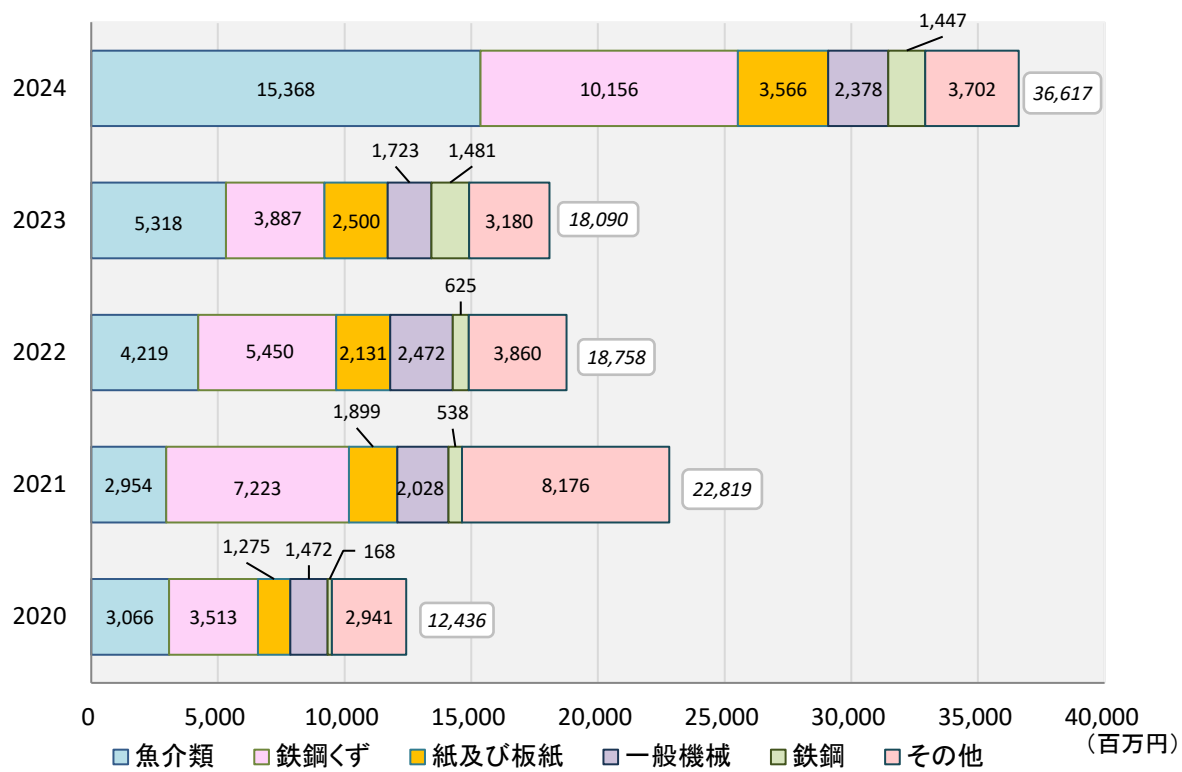
出所：財務省「貿易統計」

5. ベトナムとの貿易概況

①輸 出

2024年のベトナムへの輸出額は約366億円で、前年から約185億円増加した。
主な輸出品は、魚介類、鉄鋼くず、紙及び板紙、一般機械、鉄鋼となっている。

図表35 北海道におけるベトナムへの輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

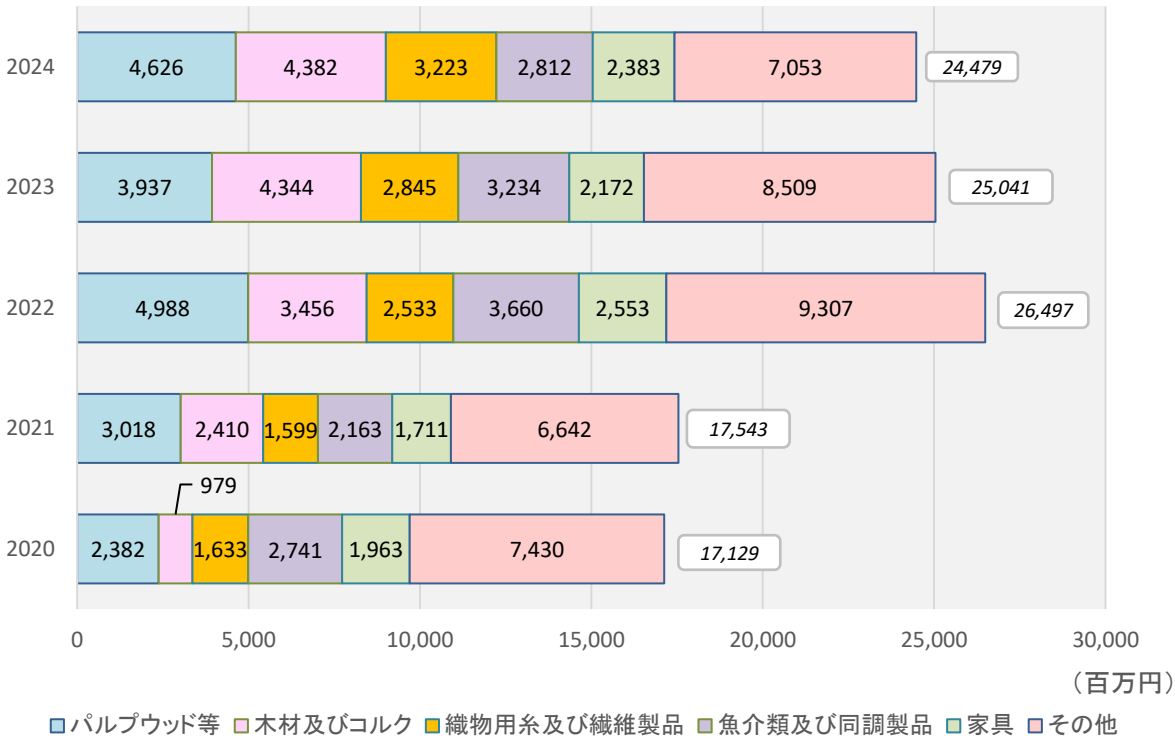
図表36 北海道におけるベトナムへの輸出額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

順位	品 名	金額 (百万円)
1	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のヘビーくず	8,223
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの（完全に殻を除いたものを除く。）	7,905
3	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	2,621
4	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの（完全に殻を除いたもの）	2,278
5	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のシュレッダーくず	1,687
6	重量が1平方メートルにつき150グラムを超えるテストライナー（再生ライナーボード）	1,067
7	再輸出品（マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。）	952
8	冷凍したぶり（セリオーラ属のもの）	917
9	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の油圧式のもの（6トン以上のもの）	843
10	クラフトライナー（さらしていないもの）	777

出所：財務省「貿易統計」

②輸 入
2024年のベトナムからの輸入額は約245億円で、前年から約6億円減少した。
主な輸入品は、パルプウッド等、木材及びコルク、織物用糸及び繊維製品、魚介類及び同調製品、家具となっている。

図表37 北海道におけるベトナムからの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表38 北海道におけるベトナムからの輸入額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	4,615
2	木質ペレット及び木質ブリケット以外ののこくず及び木くず(棒状、ブリケット状、ペレット状その他これらに類する形状に凝結させたものに限る。)	3,112
3	調製し又は保存に適する処理をしたさけのうち、気密容器入り以外のもの	2,007
4	フレキシブルコンテナ	1,316
5	人造繊維製の網(魚網、結び網地及び結び網(ひも又は綱から製造したものに限る。))以外の合成繊維製のもの)	1,067
6	木質ペレット	881
7	マットレスのうち、セルラーラバー製又は多泡性プラスチック製以外の材料製のもの	759
8	電気制御用又は配電用の盤、パネル、コンソール、机、キャビネットその他の物品及び数値制御用の機器のうち、使用電圧が1,000ボルト以下のもの	688
9	再輸入品(マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。)	541
10	エチレンの重合体製の袋	401

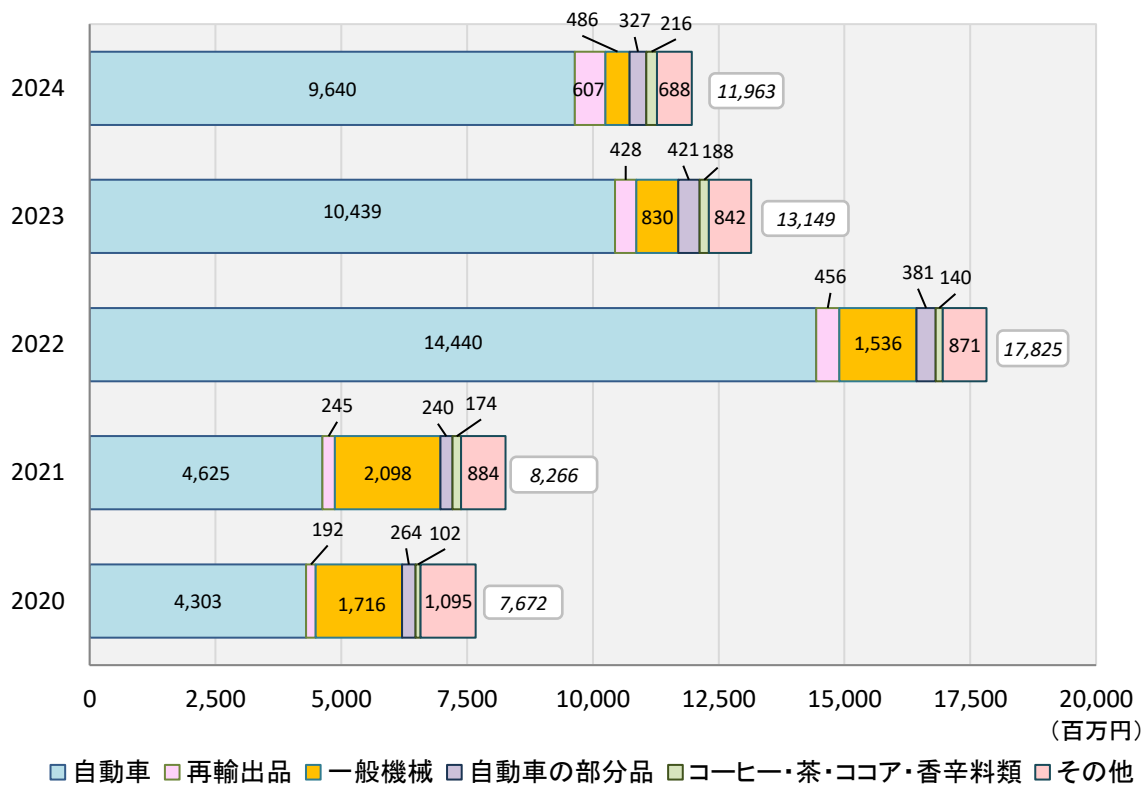
出所:財務省「貿易統計」

6. ロシアとの貿易概況

①輸 出

2024年のロシアへの輸出額は約120億円で、前年から約12億円減少した。
主な輸出品は自動車、再輸出品、一般機械、自動車の部分品、コーヒー・茶・ココア・香辛料類となっている。

図表39 北海道におけるロシアへの輸出額の推移



出所:財務省「貿易統計」

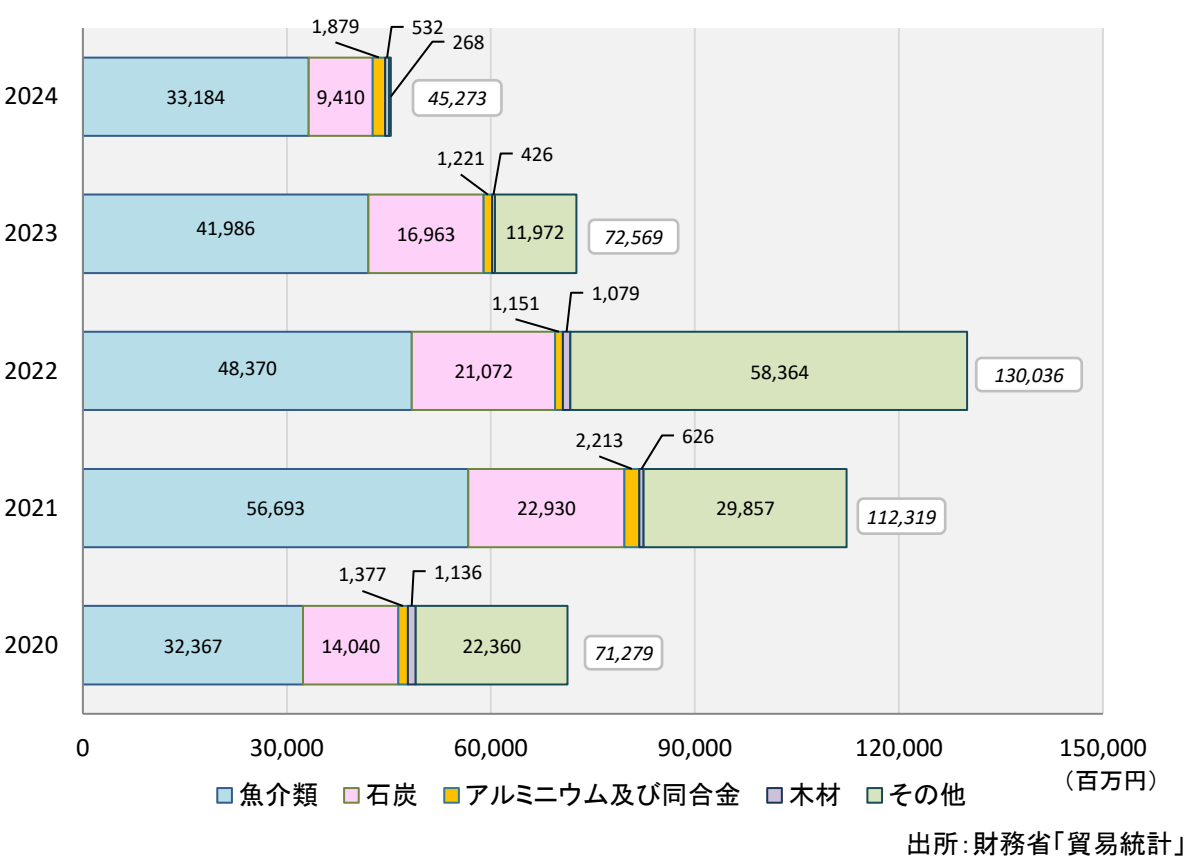
図表40 北海道におけるロシアへの輸出額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	雪上走行用に特に設計した車両及びゴルフカーその他これに類する車両を除く乗用自動車(ピストン式火花点火内燃機関のみを搭載したものに限る。)のうち、シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超え1,500立方センチメートル以下の中古のもの	5,863
2	雪上走行用に特に設計した車両及びゴルフカーその他これに類する車両を除く乗用自動車(ピストン式火花点火内燃機関のみを搭載したものに限る。)のうち、シリンダー容積が1,500立方センチメートルを超え2,000立方センチメートル以下の中古のもの	2,273
3	雪上走行用に特に設計した車両及びゴルフカーその他これに類する車両を除く乗用自動車(ピストン式火花点火内燃機関のみを搭載したものに限る。)のうち、シリンダー容積が660立方センチメートルを超え1,000立方センチメートル以下の中古のもの	1,092
4	再輸出品(マネタリーゴールド、金貨及び総トン数500トン以上の船舶を除く。)	607
5	雪上走行用に特に設計した車両及びゴルフカーその他これに類する車両を除く乗用自動車(ピストン式火花点火内燃機関のみを搭載したものに限る。)のうち、シリンダー容積が660立方センチメートル以下の中古のもの	340
6	ピストン式往復動機関(鉄道用及び軌道用以外の車両の駆動に使用する種類のものに限る。)のうち、シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超えるもの	229
7	自動車の車輪並びにその部分品及び附属品	152
8	魚の調製用機械	94
9	水(鉱水及び炭酸水を含むものとし、砂糖その他の甘味料又は香味料を加えたものに限る。)	78
10	インスタントコーヒー	74

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入
2024年のロシアからの輸入額は約453億円で、前年から約273億円減少した。
主な輸入品は、魚介類、石炭、アルミニウム及び同合金、木材となっている。

図表41 北海道におけるロシアからの輸入額の推移



図表42 北海道におけるロシアからの輸入額上位10細目品（2024年 統計品目番号による）

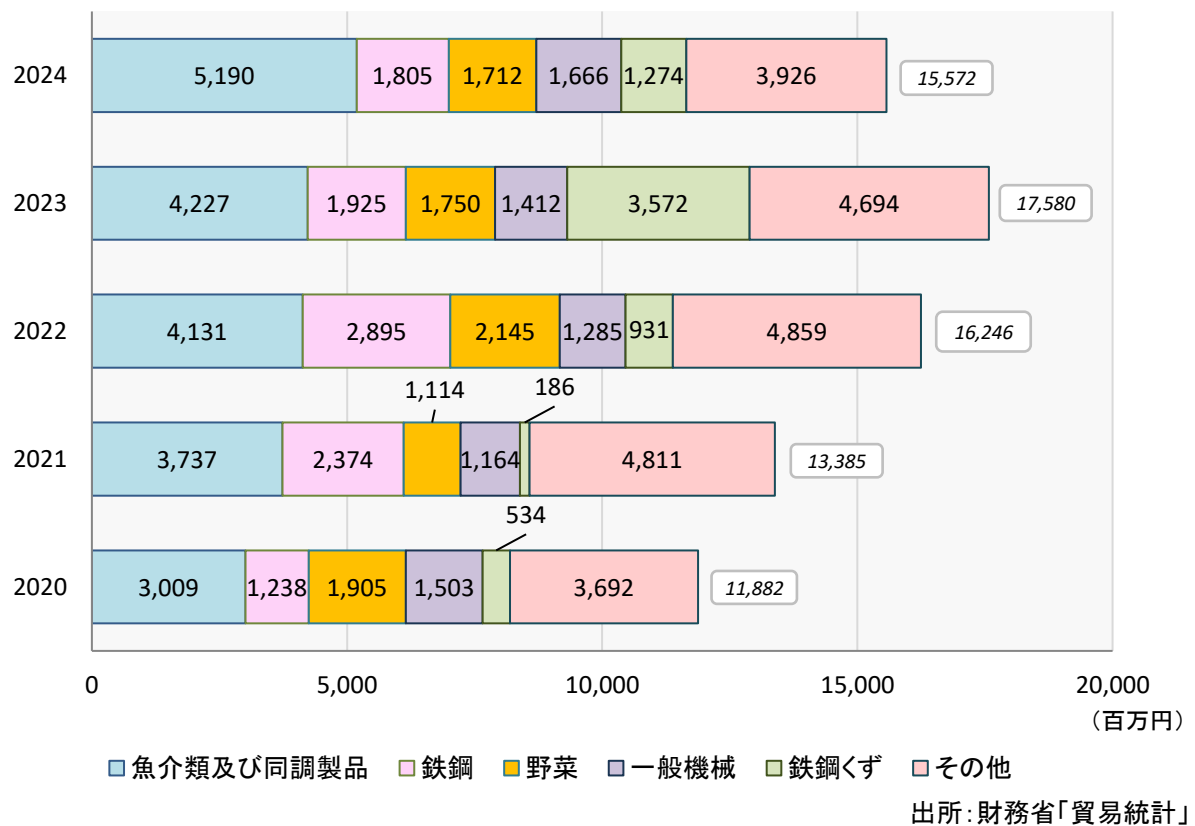
順位	品 名	金額 (百万円)
1	生きているうに(パラケントロトゥス・リヴィドゥス、ロクセキヌス・アルプス、エキヌス・エスクレントゥス及びストロングユロケントロトゥス属のもの)	12,334
2	強粘結性のコークス用炭、その他のコークス用炭以外の歴青炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のものを除く。)	5,838
3	冷凍したコールドウォーターシュリンプ及びコールドウォータープローン(クランゴン・クランゴン及びパンダルス属のもの)	4,530
4	魚の肝臓、卵及びしらこ(にしんの卵、たら卵を除く。)	4,184
5	無煙炭と歴青炭以外の石炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のものを除く。)	3,165
6	冷凍したずわいがに	3,111
7	たら(ガドゥス属、テラグラ属又はメルルシウス属のもの)の卵	2,077
8	アルミニウム合金	1,879
9	冷凍したたらばがに	1,650
10	冷凍したべにざけ(オンコルヒュンクス・ネルカ)	1,118

出所:財務省「貿易統計」

7. 台湾との貿易概況

①輸 出
2024年の台湾への輸出額は約156億円で、前年から約20億円減少した。
主な輸出品は、魚介類及び同調製品、鉄鋼、野菜、一般機械、鉄鋼くずとなっている。

図表43 北海道における台湾への輸出額の推移



図表44 北海道における台湾への輸出額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

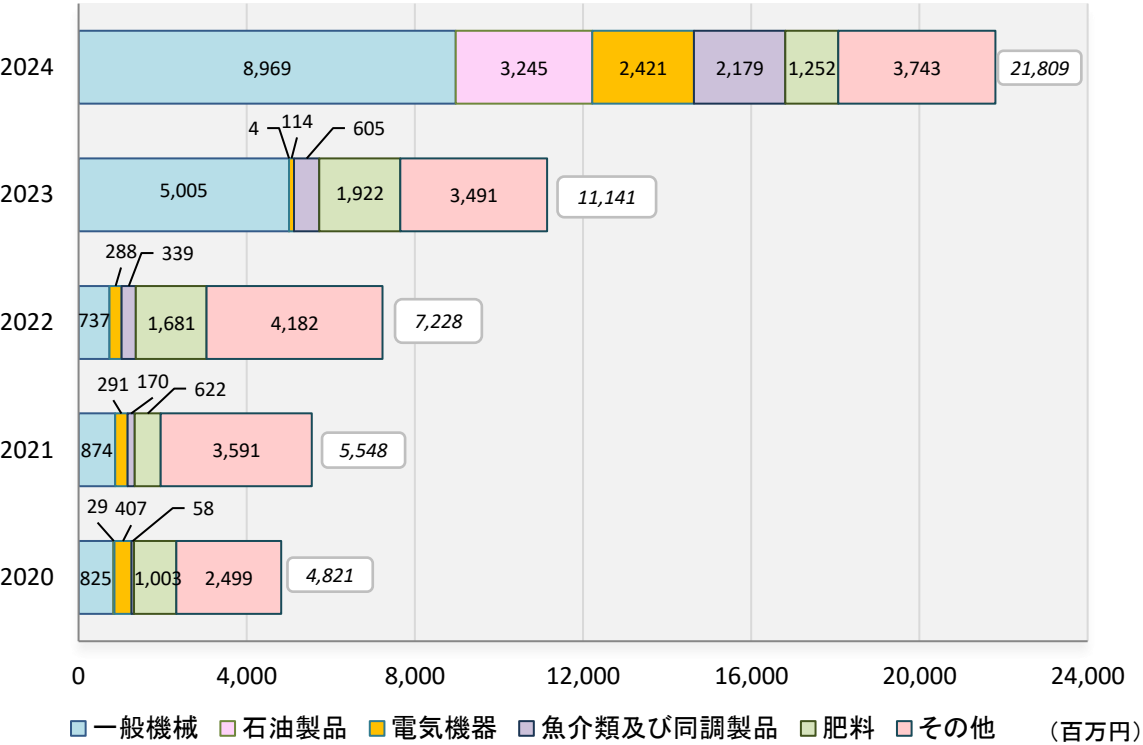
順位	品 名	金額 (百万円)
1	スキヤロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	3,170
2	鉄又は非合金鋼のフラットロール製品のうち、すず、鉛、亜鉛、アルミニウムをめつきしたもの、亜鉛を電気めつきしたもの、クロムの酸化物を被覆したもの及びクロムとクロムの酸化物とを被覆したもの、ペイント若しくはワニスを塗布し又はプラスチックを被覆したもの以外のクラッドしたもの	1,360
3	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,185
4	なまこ(乾燥したものを除く。)	1,043
5	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のシュレッダーくず	748
6	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の油圧式のもの(6トン以上のもの)	718
7	鑄鉄、合金鋼、すずをめつきしたもの、切削くず及び打抜きくず以外の鉄鋼のヘビークず	523
8	魚の粉、ミール及びペレット	481
9	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の油圧式のもの(6トン未満のもの)	446
10	プラスチックのくずのうち、エチレン、スチレン、塩化ビニルの重合体のもの以外のフレック状のポリ(エチレンテレフタレート)のもの	358

出所:財務省「貿易統計」

②輸 入

2024年の台湾からの輸入額は約218億円で、前年から約107億円増加した。
主な輸入品は、一般機械、石油製品、電気機器、魚介類及び同調整品、肥料となっている。

図表45 北海道における台湾からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表46 北海道における台湾からの輸入額上位10細目品(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)
1	携帯用の自動データ処理機械以外の処理装置(中央処理装置、入力装置及び出力装置を同一のハウジングに収納しているもの、システムの形態で提示するものを除く。)	6,727
2	揮発油のうち、自動車の燃料用のもの(低重合度の混合アルキレン、政令で定める分留性状の試験方法による減失量加算5%留出温度と減失量加算95%留出温度との温度差が2度以内のもの、政令で定める石油化学製品の製造に使用するものを除く)	3,241
3	冷凍したするめいか(トダロデス・パキフィクス)、アメリカおおあいか(ドンディクス・ギガス)、じんどういか(ロリオルス属のもの)、まついか(イルレクス属のもの)及びほたるいか(ワタセニア・スキントイルランス)	2,147
4	印刷回路	2,135
5	その他の連続作動式の昇降機及びコンベヤ(貨物用のものに限る。)のうち、地下で使用するために特に設計したもの以外のバケット型のもの	1,523
6	硫酸カリウム(乾燥状態において酸化カリウムとして計算したカリウム分が全重量の52%を超えるものを除く。)	1,204
7	大豆油かす(粉砕してあるかないか又はペレット状であるかないかを問わない。)	920
8	ゴム製の空気タイヤ(新品のものに限る。)のうち、乗用自動車(ステーションワゴン及びレーシングカーを含む。)に使用する種類のもので、公称の幅が101.6ミリメートルを超えるもの	213
9	補助機器及び蒸気原動機用復水器の部分品	170
10	プーリータックル及びホイスト(スキップホイスト及び車両持上げに使用する種類のホイストを除く。)のうち、電動機により作動するもの	108

出所:財務省「貿易統計」

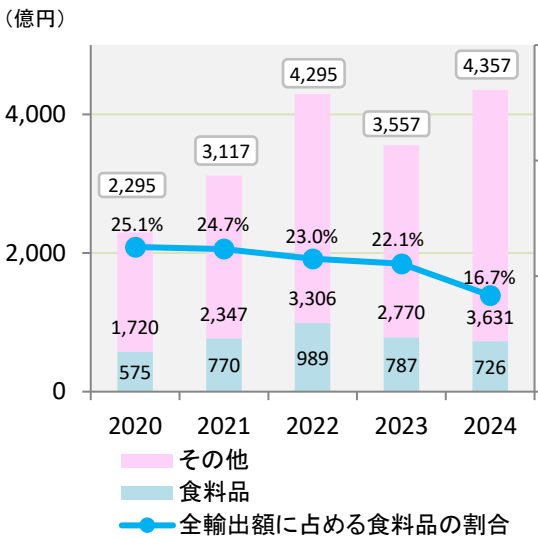
VI. 2024年の北海道における食料品輸出概況※

1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合

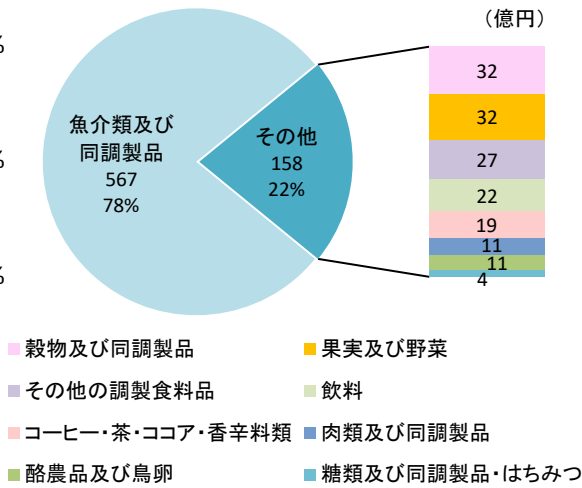
※本トピックでの食料品には、生きた動物、動物用飼料を含まない。

2024年に北海道から輸出された食料品の金額は、約726億円。
品目別では、「魚介類及び同調製品」が食料品全体の78.2%を占めている。

図表47 2020年から2024年までの輸出額全体に占める食料品の割合



図表48 2024年の食料品輸出額(品目別)



出所:財務省「貿易統計」

2. 主な品目別の食料品輸出額

北海道から主に輸出されている食料品は、スキャロップ(ほたて)、さけ、なまこなどの魚介類。
主な相手国は、米国、ベトナム、香港、台湾などとなっている。

図表49 北海道における食料品輸出額上位10細品目(2024年 統計品目番号による)

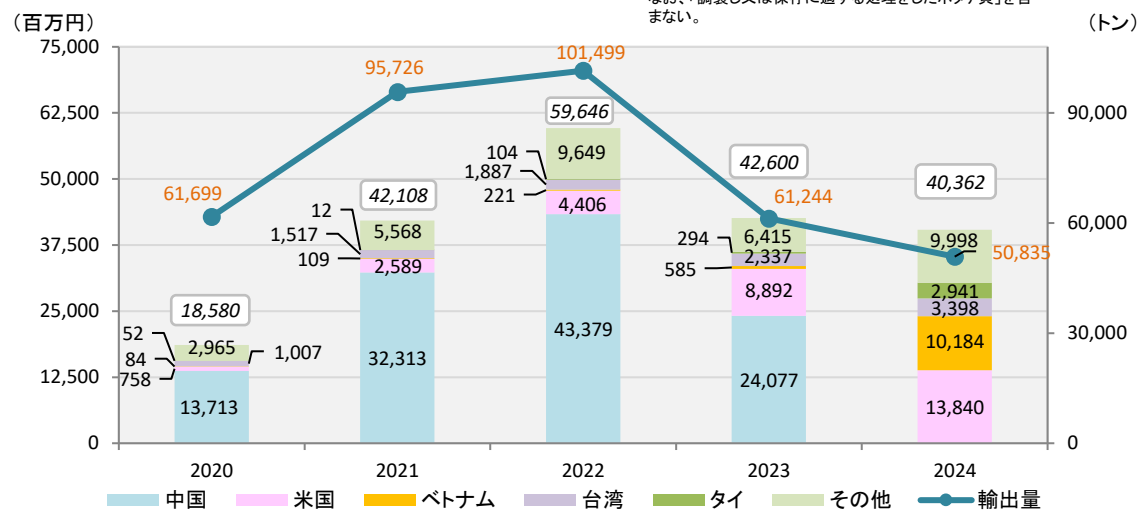
順位	品 名	金額 (百万円)	主な相手 国・地域
1	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	27,346	米国 13,840 台湾 3,170
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたものを除く。)	11,574	ベトナム 7,905 タイ 1,979
3	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	4,395	ベトナム 2,621 タイ 1,659
4	なまこ(乾燥したものを除く。)	2,502	香港 1,392 台湾 1,043
5	なまこ(乾燥したもの)	2,080	香港 2,059 マカオ 20
6	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,583	台湾 1,185 米国 271
7	チョコレートその他のココアを含有する調製食料品のうち、ココア粉以外のもの(塊状、板状又は棒状のものに限る)で、詰物をしてないもの	1,487	米国 384 シンガポール 216
8	水(鉱水及び炭酸水を含むものとし、砂糖その他の甘味料又は香味料を加えたものに限る。)	1,451	中国 882 ベトナム 252
9	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、生きているものもしくは生鮮のもの及び冷蔵したもの	1,439	香港 1,216 台湾 218
10	冷凍したぶり(セリオウ属のもの)	1,355	ベトナム 917 ギニア 90

出所:財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その1)

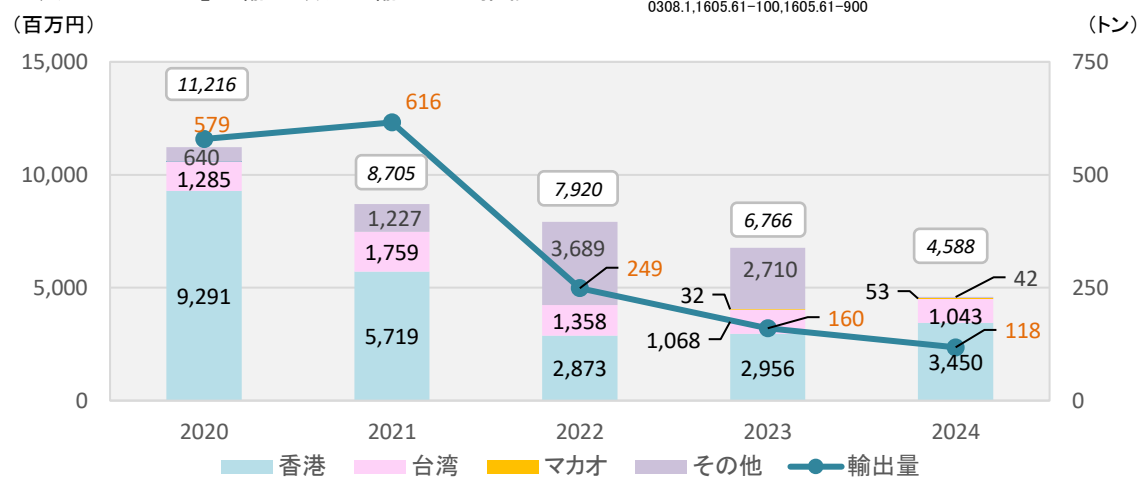
「魚介類及び同調製品」の2024年の輸出額は約567億円で、ベトナム、米国、香港、タイなどに輸出されている。品目別では、「ほたて」、「なまこ」「さけ」の全てで輸出量、輸出額ともに減少。いずれの品目も中国への輸出がなくなった一方、「ほたて」は米国、ベトナム向けが、「さけ」ではタイ、シンガポール向けが増加した。

図表50 「ほたて」の輸出額及び輸出量の推移



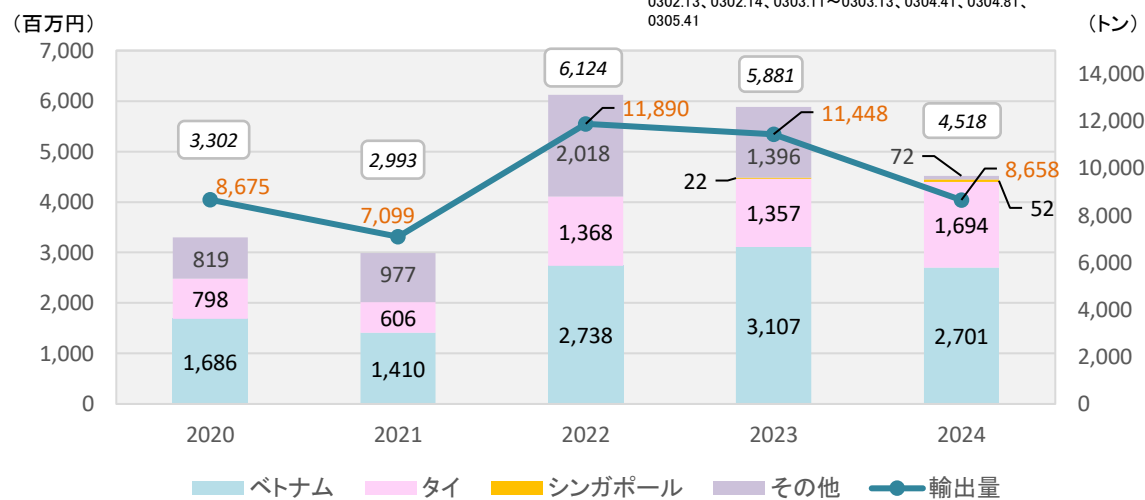
出所: 財務省「貿易統計」

図表51 「なまこ」の輸出額及び輸出量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表52 「さけ」の輸出額及び輸出量の推移



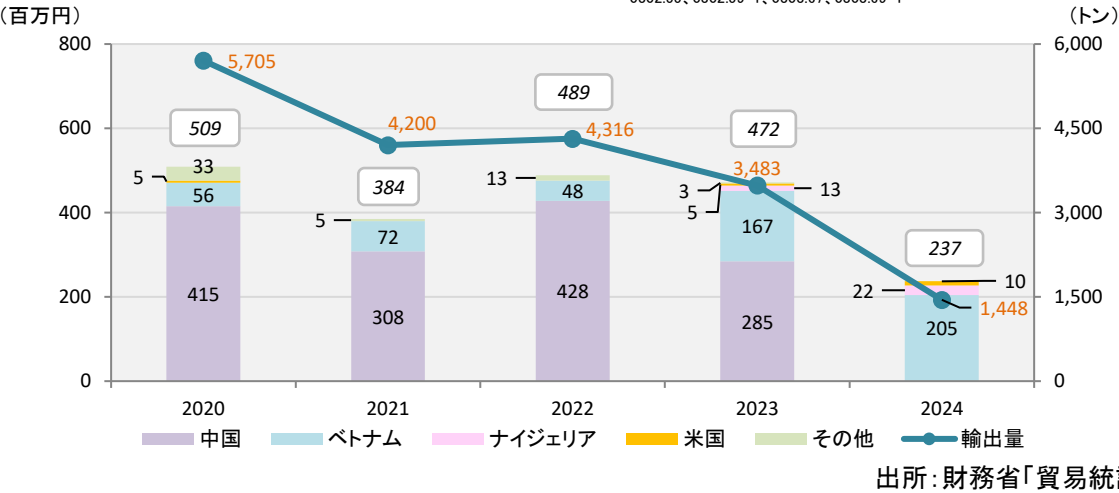
出所: 財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その2)

「たら」は中国への輸出がなくなり輸出額・量が減少したが、ベトナム、ナイジェリア向けが増加。
「冷凍さんま」はベトナム、タイ向けの増加により、輸出量・輸出額が増加した。
「いか」はベトナム向けの増加により、輸出量・輸出額が増加した。

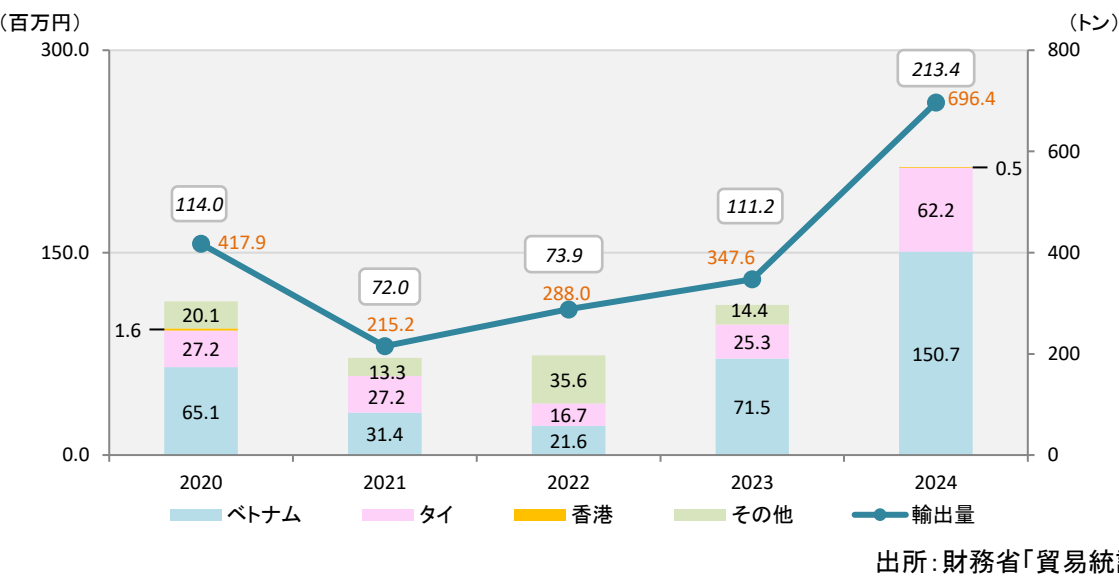
図表53 「たら」の輸出額及び輸出量の推移

注釈: 使用している統計品目番号は以下のとおり。
0302.55、0302.59-1、0303.67、0303.69-1



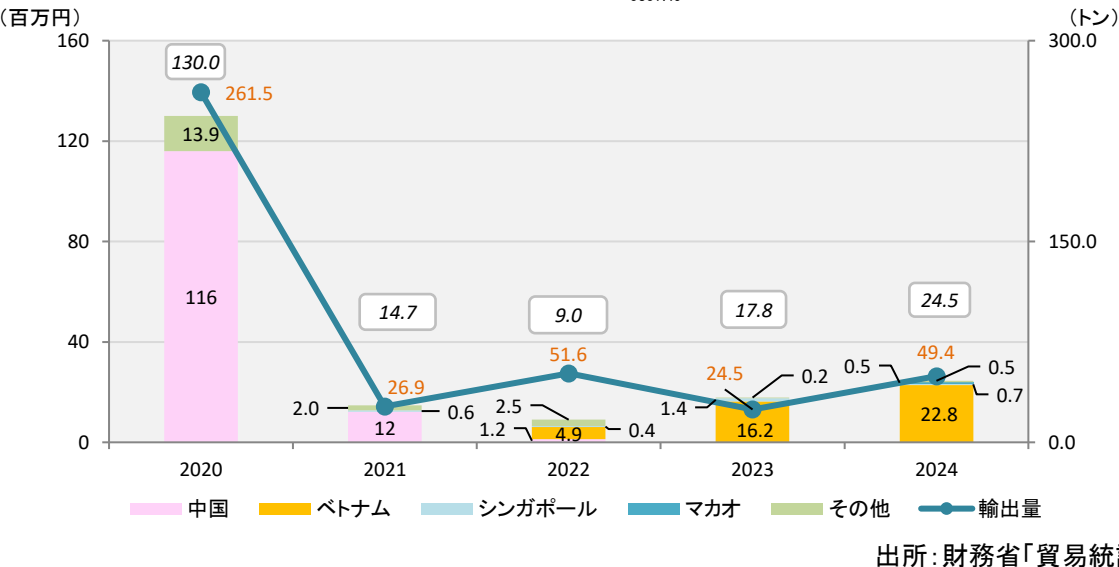
図表54 「冷凍さんま」の輸出額及び輸出量の推移

注釈: 使用している統計品目番号は、0303.59.010



図表55 「いか」の輸出額及び輸出量の推移

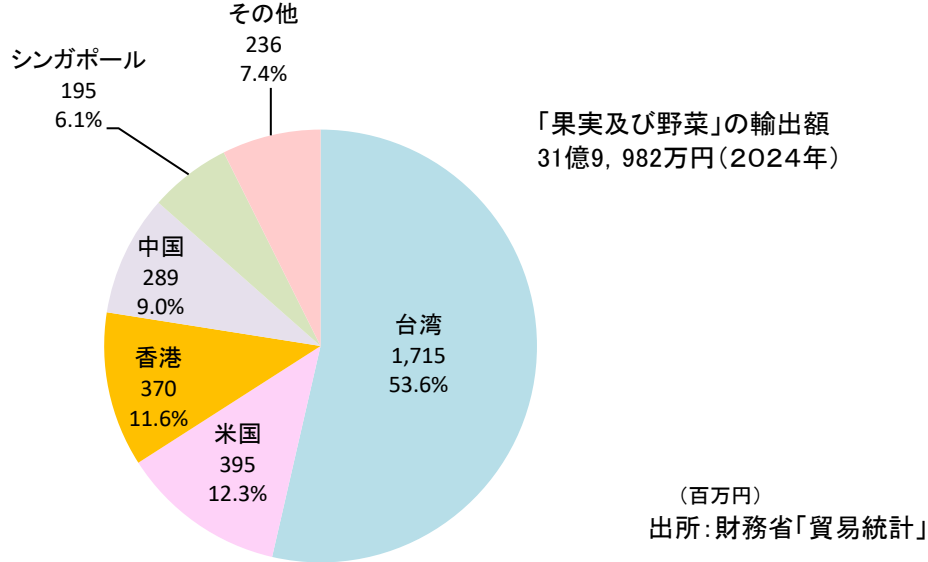
注釈: 使用している統計品目番号は、0307.42、0307.43、0307.49



2－②「果実及び野菜」の輸出概況

「果実及び野菜」の2024年の輸出額は約32億円で、主に台湾、米国、香港などに輸出されている。2024年、輸出が多かった品目は「ながいも(ヤム芋)」、「ばれいしょ」、「納豆」などで、特に輸出が多い「ながいも」は、台湾や米国に輸出されている。

図表56 「果実及び野菜」の主な輸出相手国・地域(2024年)



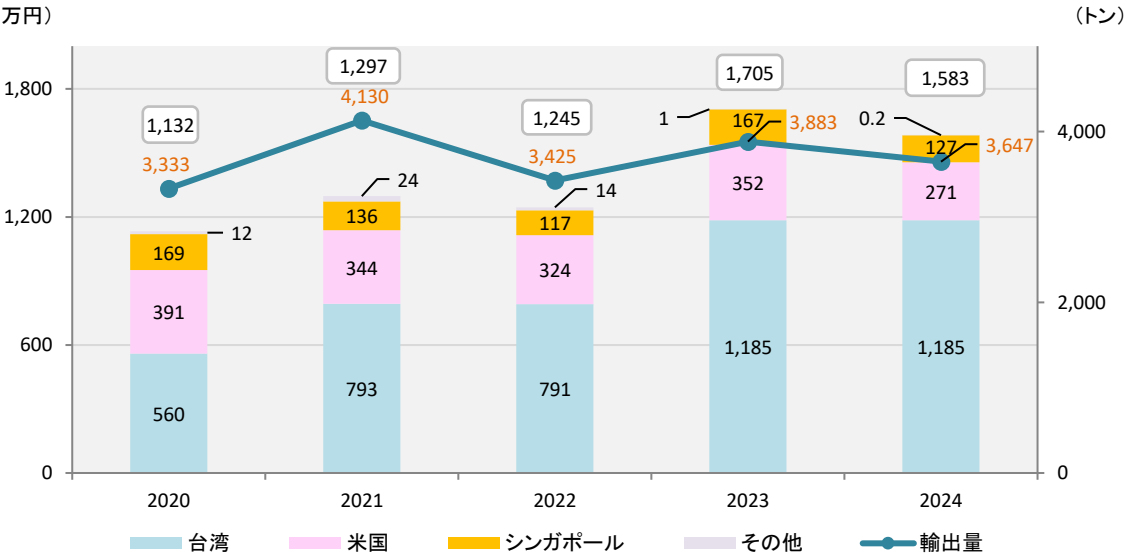
図表57 「果実及び野菜」輸出額上位5細品目(2024年 統計品目番号による)

順位	品 名	金額 (百万円)	主な相手 国・地域
1	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,583	台湾 1,185 米国 271
2	ばれいしょ	626	台湾 268 香港 113
3	納豆	315	中国 268 韓国 46
4	メロン	184	香港 182 米国 1
5	たまねぎ及びシャロット	180	台湾 170 香港 10

出所:財務省「貿易統計」

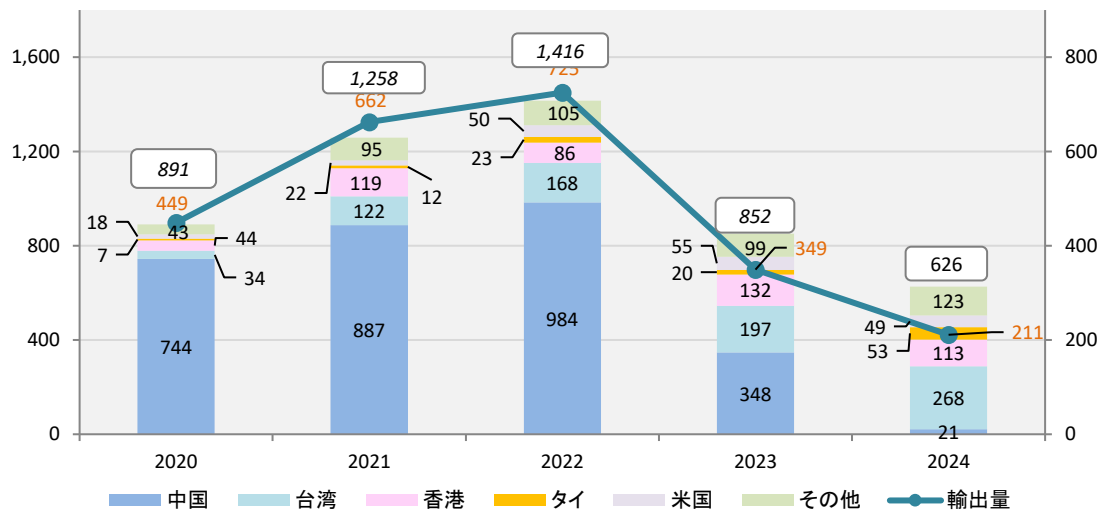
図表58 「ながいも」の輸出額及び輸入量の推移
(百万円)

注釈: 使用している統計品目番号は、0714.30、0714.90



図表59 「ばれいしょ」の輸出額及び輸出量の推移
(百万円) (トン)

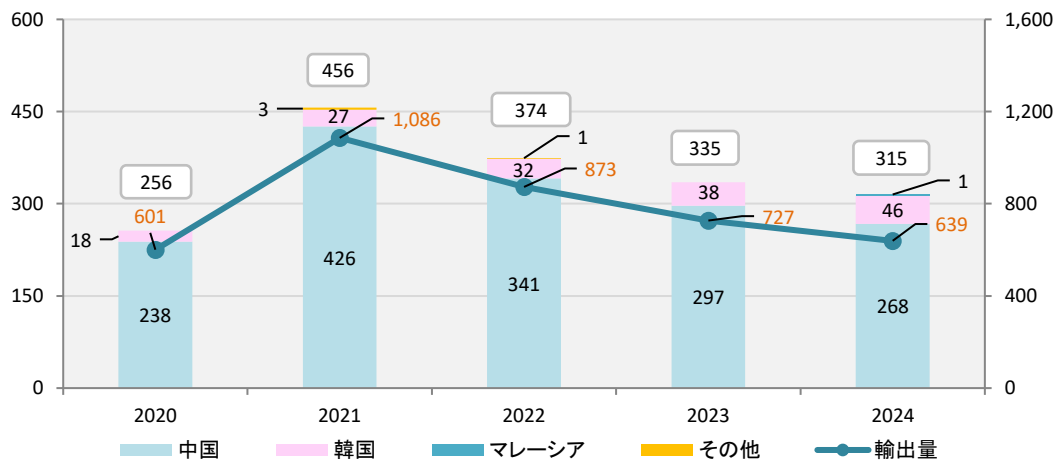
注釈: 使用している統計品目番号は、2005.20



出所: 財務省「貿易統計」

図表60 「納豆」の輸出額及び輸出量の推移
(百万円) (トン)

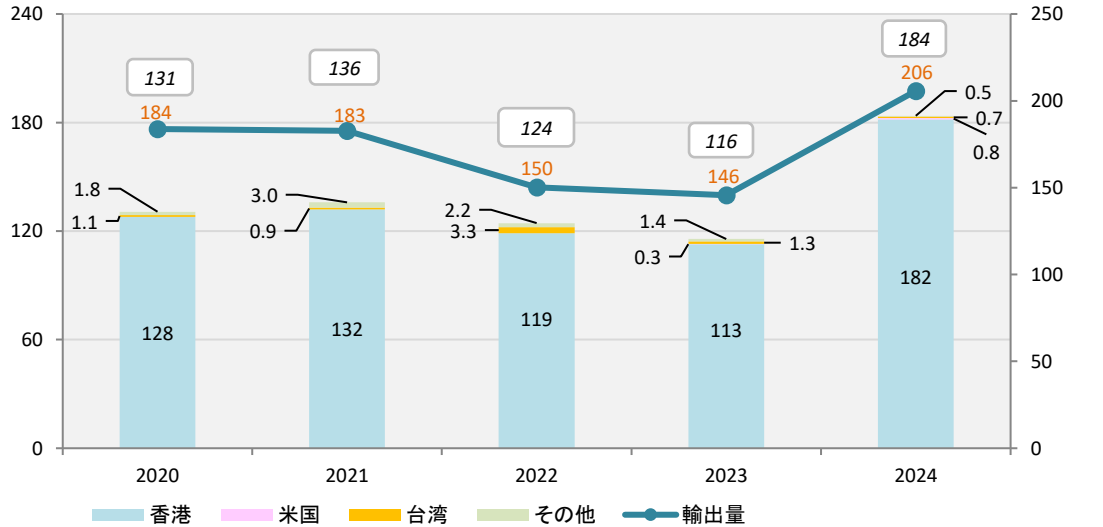
注釈: 使用している統計品目番号は、2008.19-010



出所: 財務省「貿易統計」

図表61 「メロン」の輸出額及び輸出量の推移
(百万円) (トン)

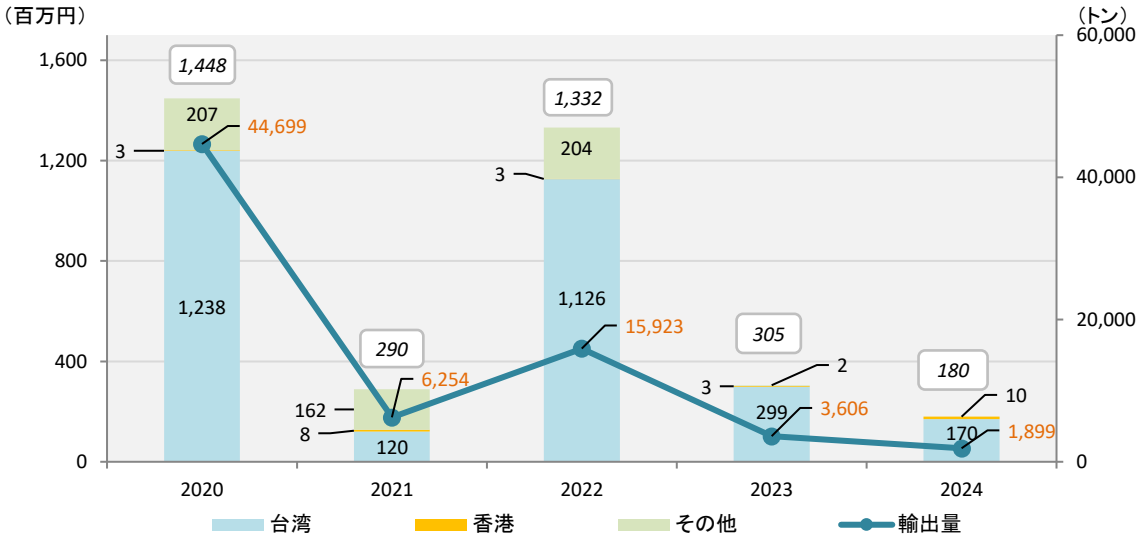
注釈: 使用している統計品目番号は、0807.19



出所: 財務省「貿易統計」

図表62 「たまねぎ」の輸出額及び輸出品の推移

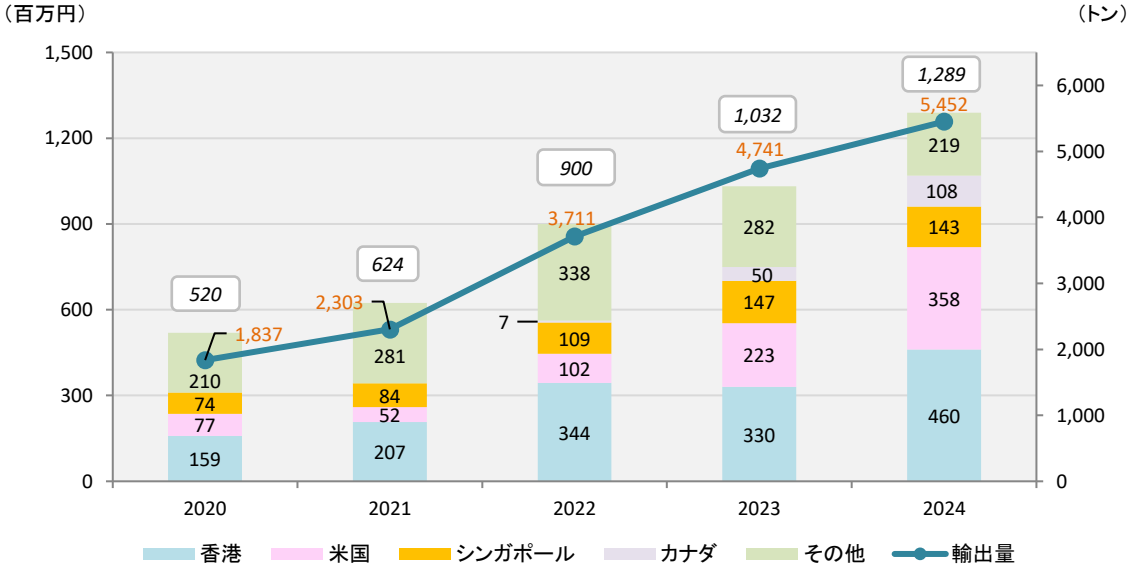
注釈：使用している統計品目番号は、0703.10



2-③. 「その他の食料品」の輸出概況

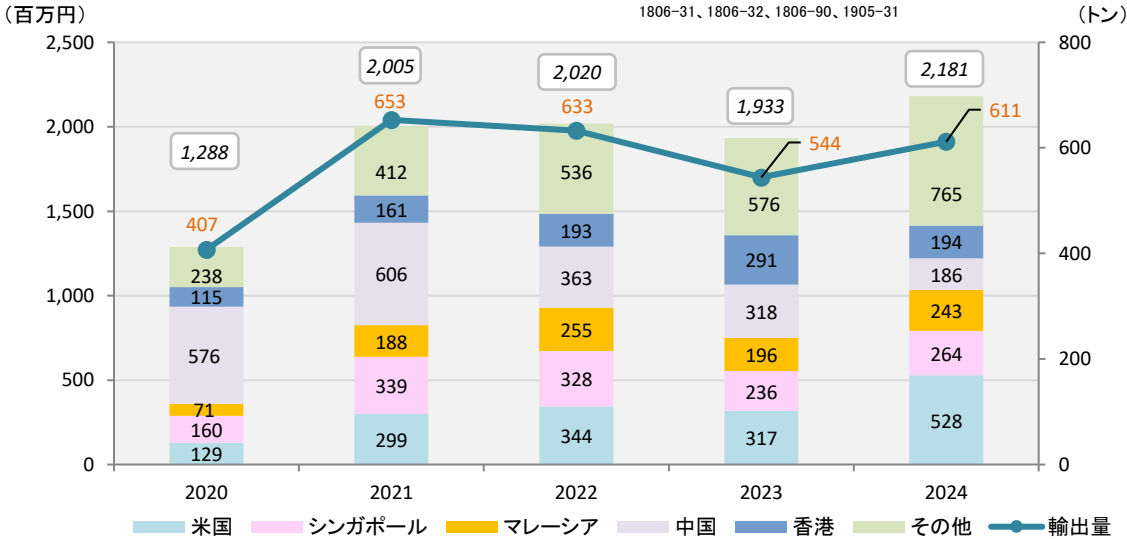
図表63 「米」の輸出額及び輸出品の推移

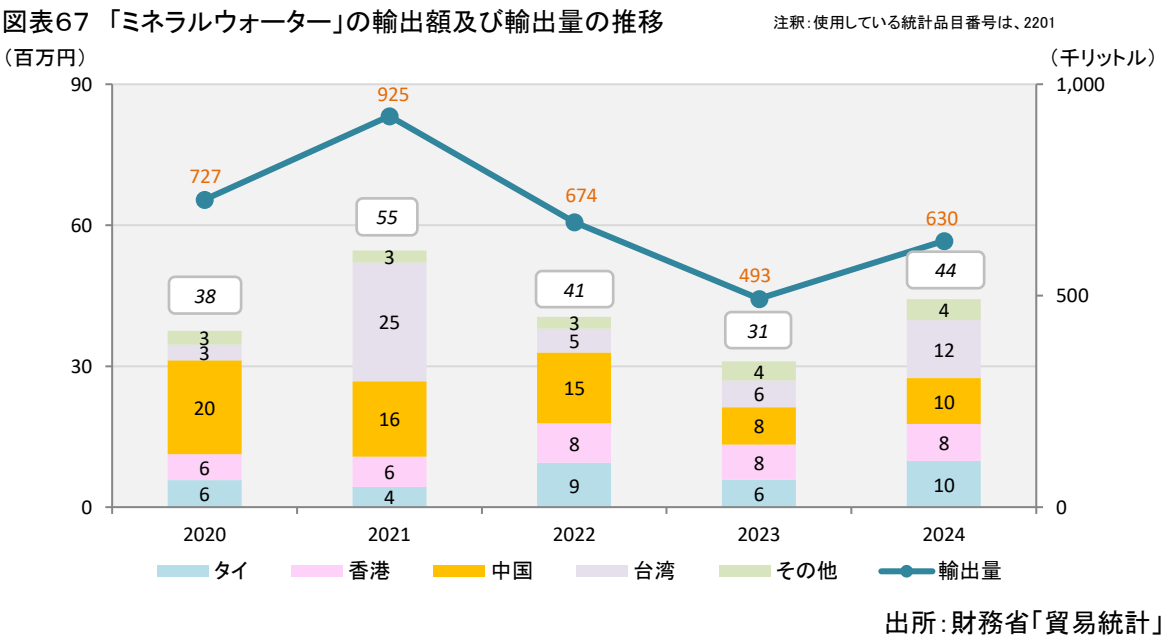
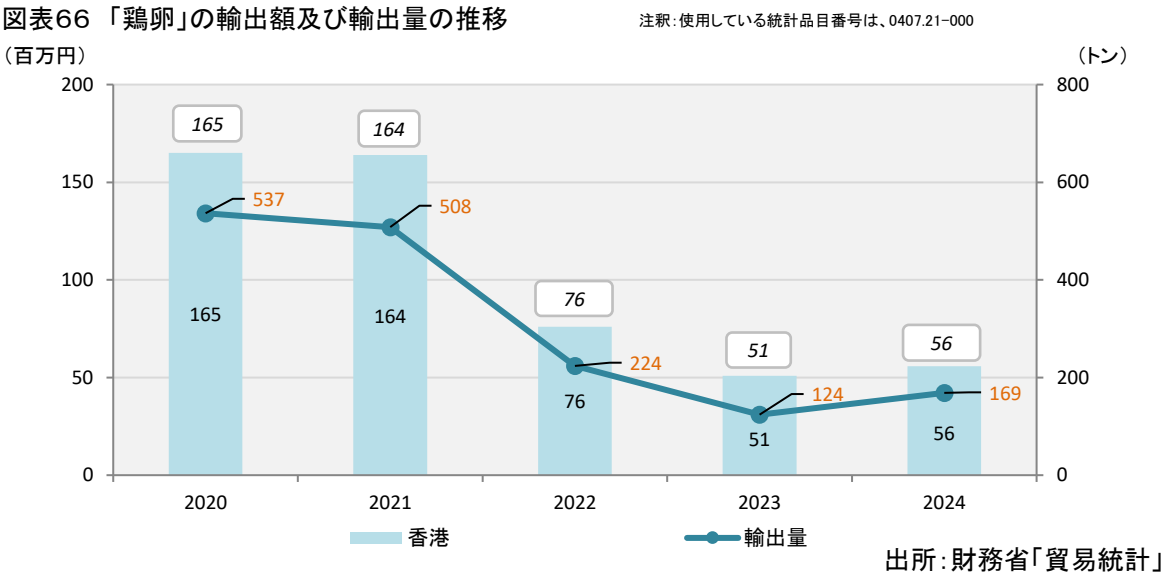
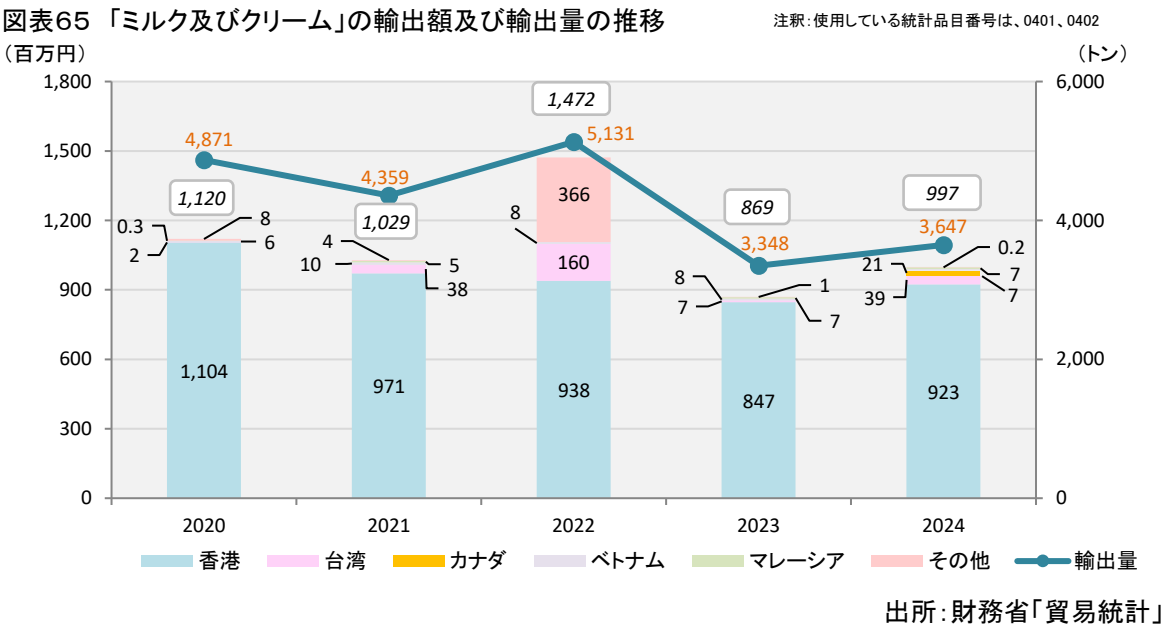
注釈：使用している統計品目番号は、1006



図表64 「菓子」の輸出額及び輸出品の推移

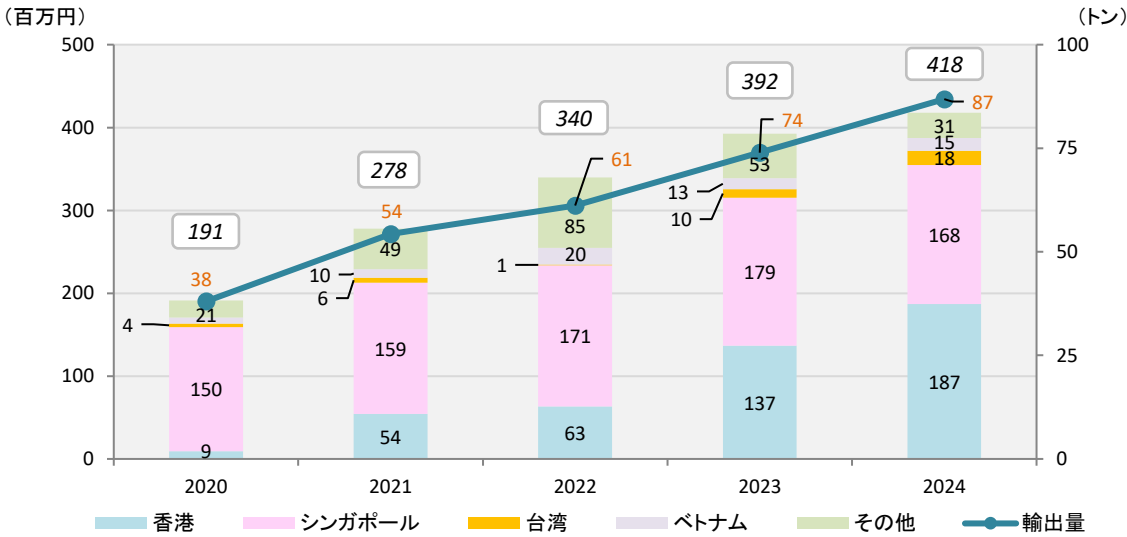
注釈：使用している統計品目番号は以下のとおり。
1704-10、1704-90-100、1704-90-200、1806-20、
1806-31、1806-32、1806-90、1905-31





図表68 「牛肉」の輸出額及び輸出量の推移

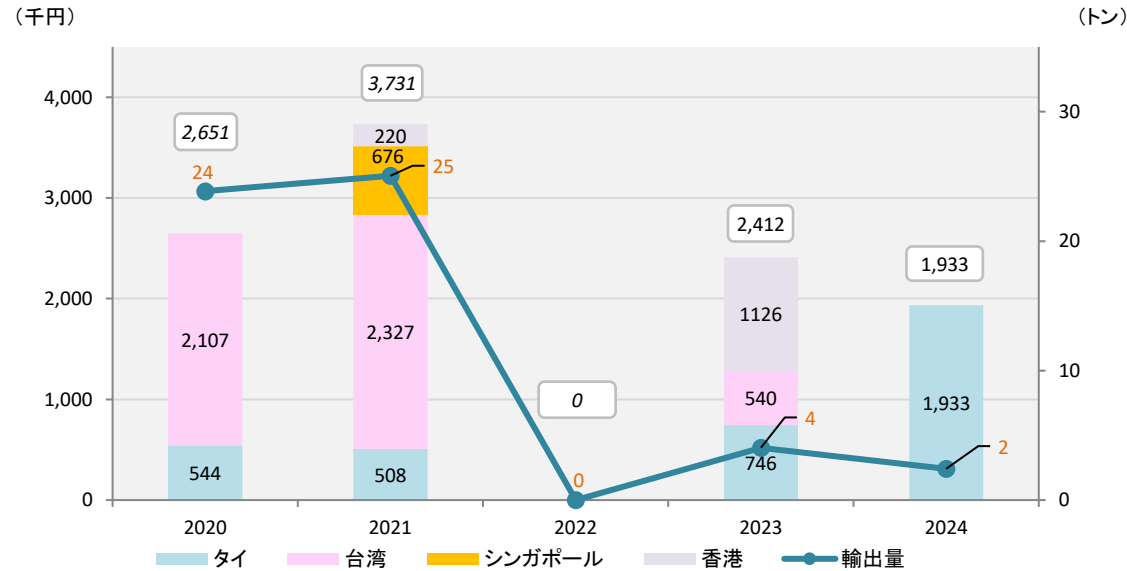
注釈：使用している統計品目番号は、0201、0202



出所：財務省「貿易統計」

図表69 「冷凍野菜」の輸出額及び輸出量の推移

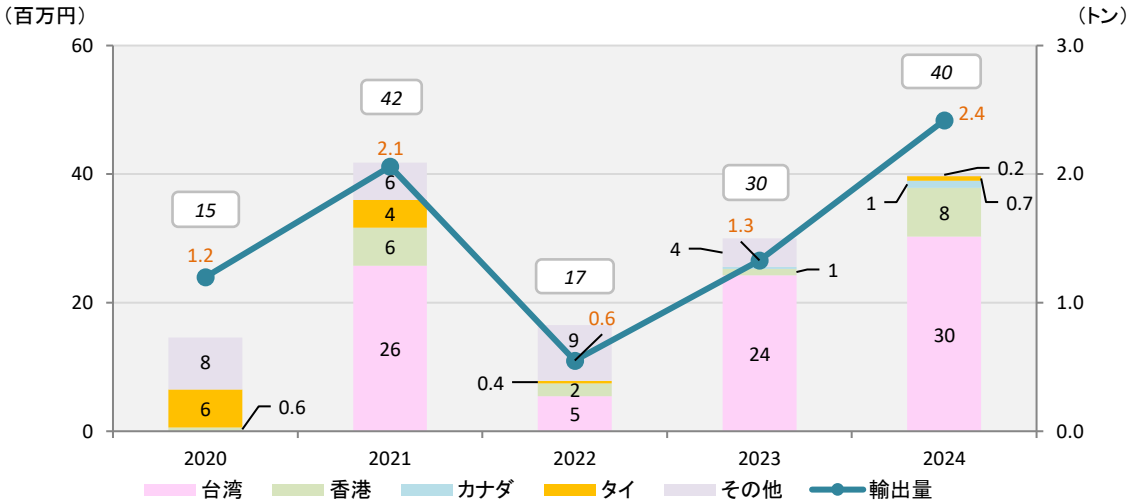
注釈：使用している統計品目番号は、0710



出所：財務省「貿易統計」

図表70 「うに」の輸出額及び輸出量の推移

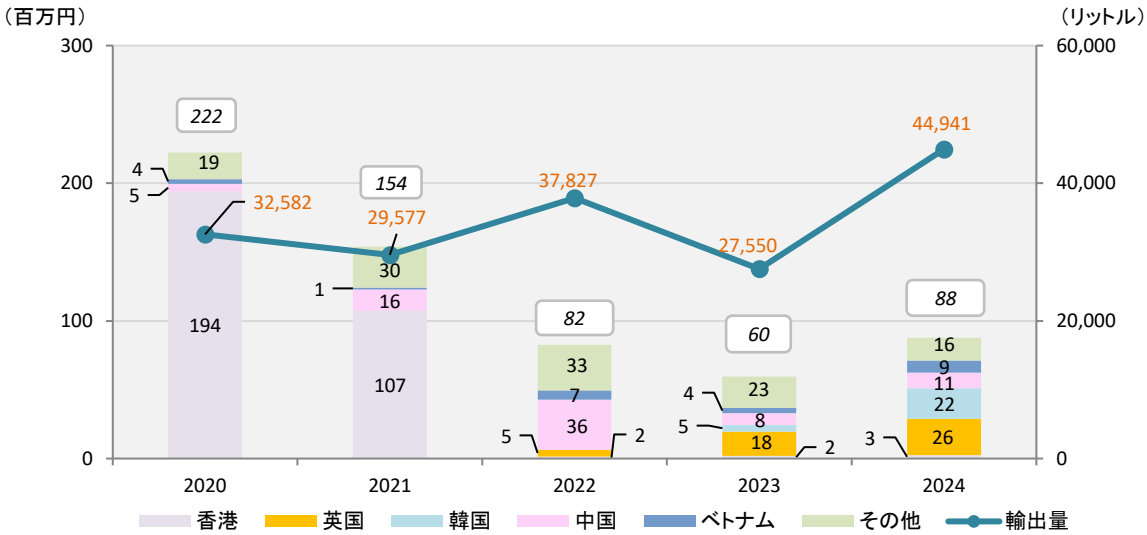
注釈：使用している統計品目番号は、0308.2、1605.62



出所：財務省「貿易統計」

図表71 「日本酒」の輸出額及び輸出量の推移

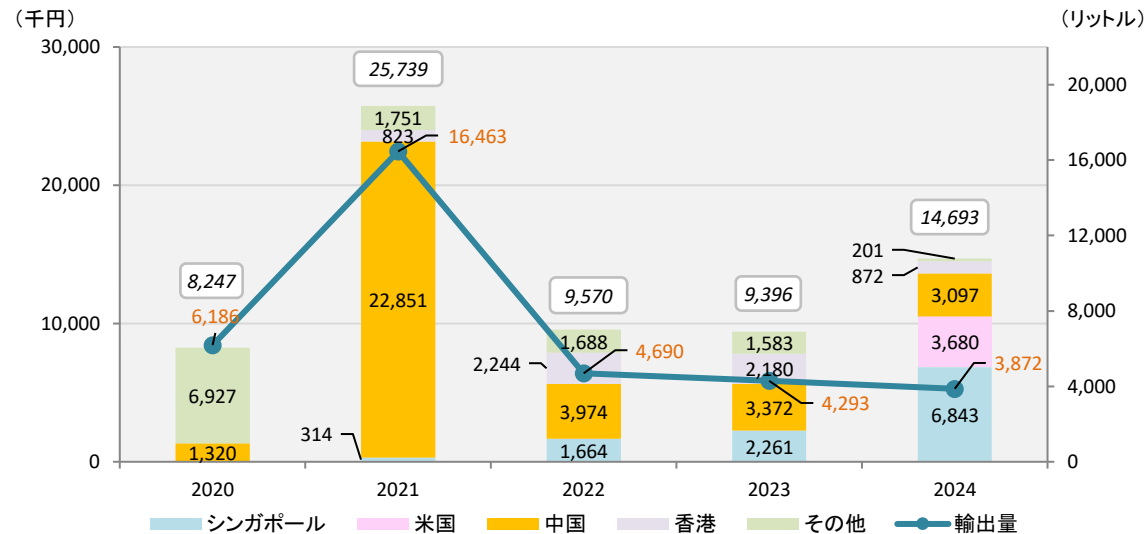
注釈：使用している統計品目番号は、2206.00-200



出所：財務省「貿易統計」

図表72 「ワイン」の輸出額及び輸出量の推移

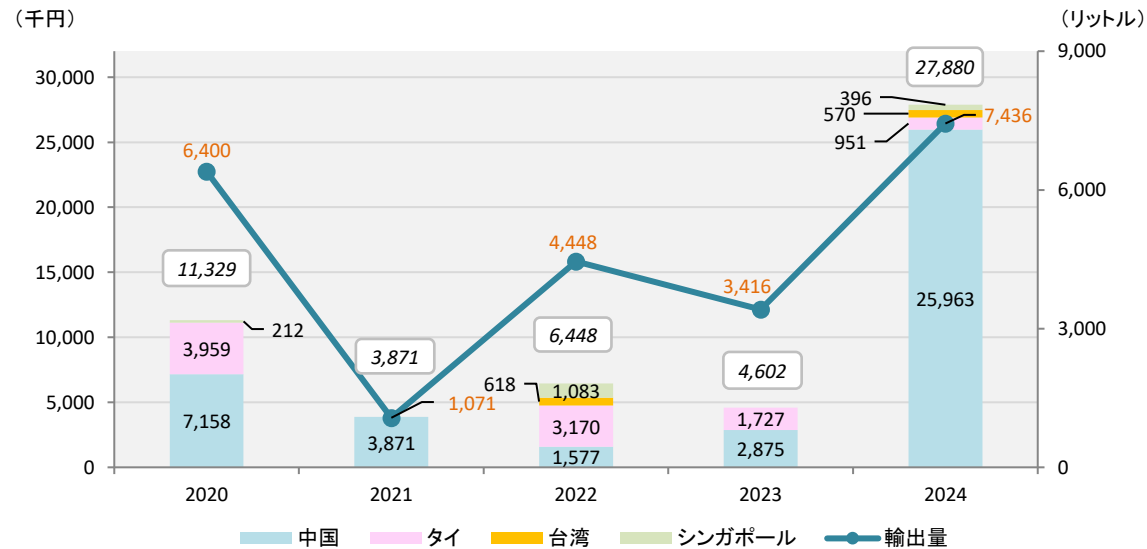
注釈：使用している統計品目番号は、2204



出所：財務省「貿易統計」

図表73 「ウイスキー」の輸出額及び輸出量の推移

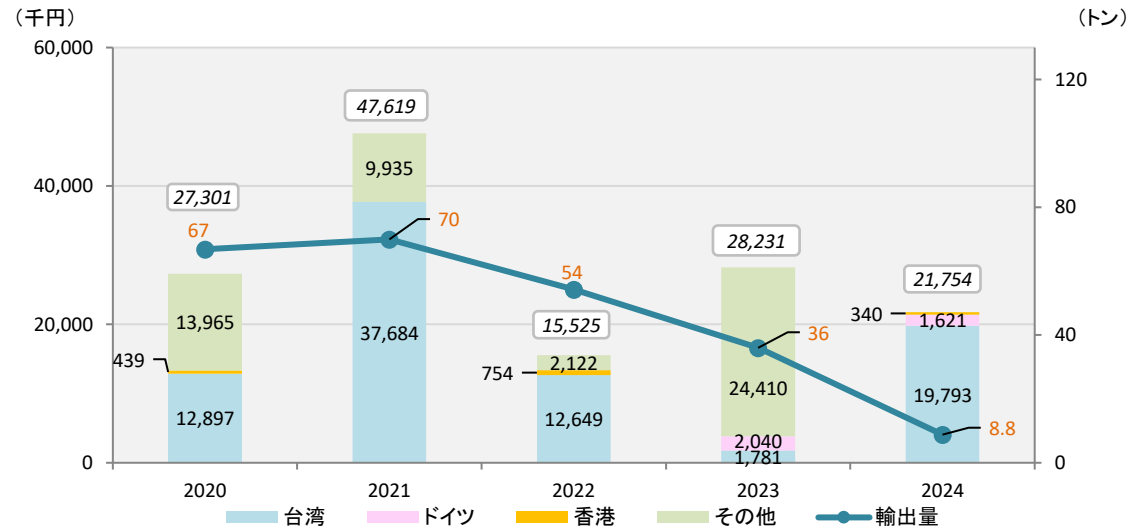
注釈：使用している統計品目番号は、2208.30.000



出所：財務省「貿易統計」

図表74 「昆布」の輸出額及び輸出品の推移

注釈: 使用している統計品目番号は、1212.21-200

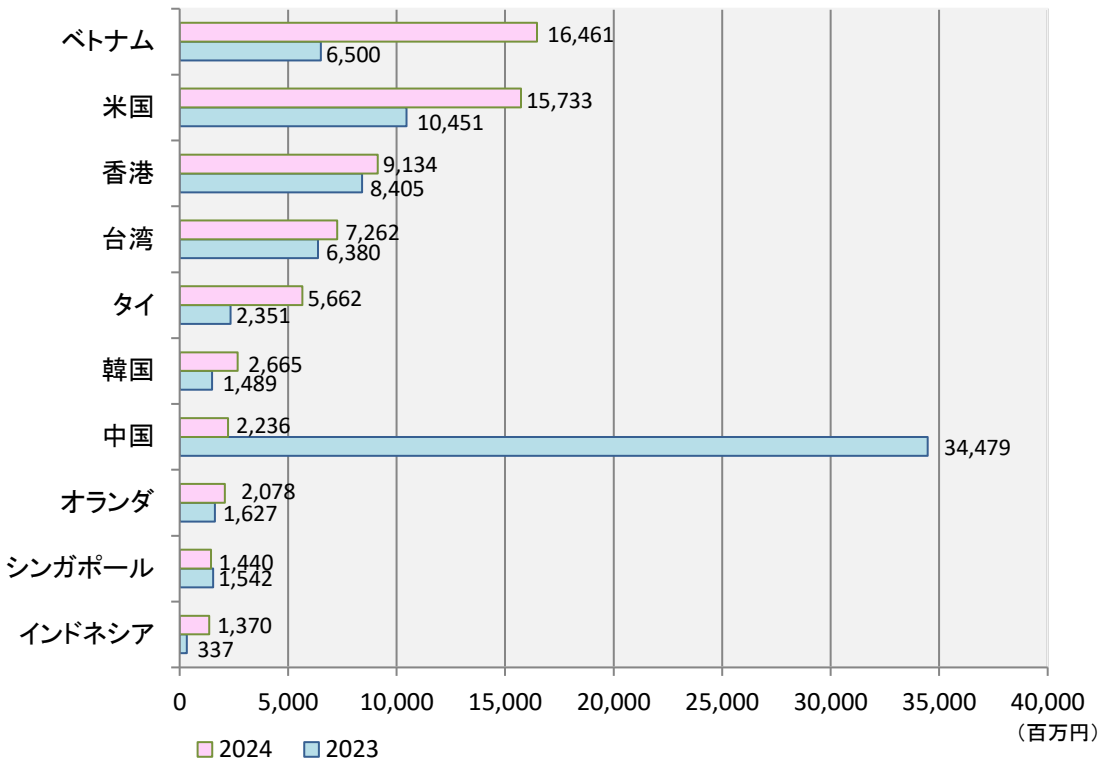


出所: 財務省「貿易統計」

3. 食料品の主な輸出相手国・地域

2024年の北海道における食料品の輸出相手先をみるとベトナムが最も多く、次いで米国、香港、台湾、タイなどの順になっている。

図表75 北海道における食料品の主な輸出相手国・地域



出所: 財務省「貿易統計」

「目で見る北海道貿易」参考情報① ～北海道の貿易データ～

北海道の貿易データは、函館税関の「貿易統計」ウェブサイトで見ることが出来ますが、本資料のように特定の品目別、国・地域別の輸出入額や輸出入量を調べる場合は、「財務省貿易統計」の「統計表一覧」から、CSVデータをダウンロードし、エクセルの「フィルター」等の機能を使って必要な情報だけを抽出します。

CSVデータは「財務省貿易統計」の下記ページからダウンロードできます。本資料では主に「税関別品別国別表」や「税関別概況品別国別表」を使用しています。

普通貿易統計> <http://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>

CSVデータはコード番号などの数字で構成されています。主なコードは下記のとおりです。

Custom: 港(税関)ごとのコード

税関別符号表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a2.htm>

HS: HSコード(統計品目番号)

輸出統計品目表> <http://www.customs.go.jp/yusyutu/index.htm>

輸入統計品目表> <http://www.customs.go.jp/tariff/index.htm>

Commodity: 概況品コード

概況品コード表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/code/code.htm>

Country: 国・地域別のコード

国名符号表> <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a1.htm>

なお、全国の貿易データは、「財務省貿易統計」の「検索ページ」で簡単に検索することが出来ます。

貿易統計検索ページ> <http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm>

「目で見る北海道貿易」参考情報② ～「HSコード」と「概況品コード」について～

「HSコード」とは「統計品目番号」(とくに輸入の場合は「関税番号」「税番」といわれるもので、9桁の数字で表記されます。このコードの6桁目までは、HS条約に基づいて国際的に統一されており、輸出入とも共通です(7桁目以降の国内細分については、輸出と輸入では、必ずしも同じではありません)。

一方、「概況品コード」は、いくつかの統計品目をまとめて、より一般的な名称を付したもので、1、3、5、7、8桁のものがああります。

本資料では、主に「概況品コード」を用いて集計していますが、一部の表やグラフについては、「統計品目番号による」「使用している統計品目番号」と注記のうえ、「HSコード」を用いて集計しています。

特定品目の貿易額を調べる場合、まずは「HSコード」を確認することとなりますが、「HSコード」は必ずしも一つの品目に一つの番号とはなっていないため、調べたい品目だけの貿易額を抽出できない場合もありますので、注意が必要です。

「HSコード」と「概況品コード」につきましては、「目で見る北海道貿易」参考情報①でご紹介したウェブサイトよりご参照ください。

(例)「冷蔵のにんじん」の輸出額を調べたい場合。

「冷蔵のにんじん」のHSコードは、0706.10-000「にんじん及びかぶ(生鮮のもの及び冷蔵したものに限る。)」ですが、この番号の輸出額には「生鮮・冷蔵のかぶ」や「生鮮のにんじん」も含まれているため、「冷蔵のにんじん」の輸出額だけを、貿易統計で調べることは出来ません。

Edited by

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）
北海道貿易情報センター

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西2丁目北海道経済センター9階

TEL:011-261-7434

Email : SAP@jetro.go.jp